

一般演題プログラム

※日にち、セッション番号順に掲載しております。

一般演題（口演）

■日時：11月26日（水）16：00～17：00

■会場：第3会場（さくら西）

O-1）リンパ腫

座長 四本 美保子

（東京医科大学病院臨床検査医学科）

高折 晃史

（京都大学医学研究科血液・腫瘍内科学）

001 EBウイルス関連脳原発リンパ腫を発症した AIDSの3症例

宮川寿一¹⁾、山口俊一郎¹⁾、中村美紀¹⁾、満屋裕明¹⁾、
徳永賢治²⁾

1) 熊本大学医学部附属病院血液内科・感染免疫診療部
2) 八代総合病院血液内科

002 HAARTと全脳照射が有効であったHIV関連 脳原発リンパ腫の症例

宮本悠希¹⁾、三浦英明¹⁾、増田新一郎¹⁾、柳 富子¹⁾、
武田泰明²⁾、北村成大³⁾

1) 社会保険中央総合病院内科
2) 社会保険中央総合病院脳外科
3) 社会保険中央総合病院病理

003 中枢神経原発B細胞性リンパ腫を合併した HIV関連末梢性T細胞リンパ腫の1例

後藤耕司¹⁾、畠山修司¹⁾、岡本 耕¹⁾、阿部克俊¹⁾、
糸山 智¹⁾、四柳 宏¹⁾、細川雅孝²⁾、渡辺卓郎²⁾、
市川 幹²⁾、坂谷貴司³⁾、太田 聡³⁾、小池和彦¹⁾

1) 東京大学医学部附属病院感染症内科
2) 東京大学医学部附属病院血液内科
3) 東京大学医学部附属病院臨床病理部

004 治療抵抗性のAIDS合併Burkittリンパ腫に対 する自己末梢血幹細胞移植を併用した救援 療法

有馬靖佳、中村文明、福永明子、平田大二

田附興風会医学研究所北野病院血液内科

■日時：11月26日（水）11：00～12：00

■会場：第4会場（小ホール）

O-2）感染機構

座長 久保 嘉直

（長崎大学熱帯医学研究所）

前田 洋助

（熊本大学医学薬学研究部感染防御学分野）

005 ウイルスに対する海馬組織の脆弱性に関 する研究

安藤良徳^{1,2)}、北山裕子¹⁾、小柳義夫¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
2) 京大生命科学研究科細胞機能動態学講座

006 カテプシン群蛋白質分解酵素のCD4非依存 性HIV-1感染における役割

吉居廣朗^{1,2)}、神山陽香²⁾、佐藤裕徳³⁾、山本直樹⁴⁾、
久保嘉直²⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
2) 長崎大学熱帯医学研究所エイズ・感染防御分野
3) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
4) 国立感染症研究所エイズ研究センター

007 休止期CD4⁺ T細胞におけるHIV-1感染防御 機構の解析

植田知幸、加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室

008 HIV-1 感染後 CD4⁺ T 細胞上の CCR5 は down-modulation されない

遊佐敬介、門出和精、前田洋助、原田信志

熊本大学医学薬学研究部感染防御学分野

一般演題（口演）

■日時：11月26日（水）16：00～17：00

■会場：第4会場（小ホール）

O-3）新薬開発

座長 児玉 栄一

（京都大学ウイルス研究所）

村上 努

（国立感染症研究所エイズ研究センター第3室）

009 KRH-3955は経口投与可能な高活性抗X4 HIV-1阻害剤である

村上 努¹⁾、大隈 和²⁾、田中礼子²⁾、仲宗根正¹⁾、濱武牧子¹⁾、駒野 淳¹⁾、谷中幹郎³⁾、田中勇悦²⁾、山本直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 琉球大学医学研究科免疫学分野

3) 株式会社クレハ分析センター

010 Tat-TAR-PTEFb(CyclinT1)を標的としたin sillico 薬剤スクリーニング

朝光かおり、日比悠里名、小林雄祐、岡本 尚
名古屋市立大学医学研究科

011 Macrocyclic構造を有する一連の新規プロテアーゼ阻害剤の抗HIV-1活性の検討

東條 靖¹⁾、関 康博¹⁾、天野将之¹⁾、Arun K, Ghosh²⁾、満屋裕明¹⁾

1) 熊本大学医学薬学研究部血液内科学

2) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

012 HIVインテグラーゼ阻害剤耐性株の二次変異によるウイルスの増殖能の回復

関 貴弘、中原宏一郎、三木 茂、須山明美、森元千晶、小林雅典、吉永智一、佐藤彰彦、藤原民雄

塩野義製薬株式会社創薬研究所

■日時：11月26日（水）11：00～12：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-4）疫学・国際協力

座長 沢崎 康

（財団法人エイズ予防財団）

近藤 麻理

（岡山大学保健学研究科）

013 タイ北部の薬物依存者におけるHIV感染のリスクファクターに関する研究

嶋根卓也¹⁾、Sivalee Kasemsilpa²⁾、古藤吾郎³⁾、Apisak Wittayanookulluk⁴⁾、Aranya Phajuy⁴⁾、Apinun Aramrattana⁵⁾、竹原健二⁶⁾、三砂ちづる⁷⁾

1) 国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部

2) Thai Harm Reduction Network

3) アジア太平洋地域アディクション研究所

4) Chiang Mai Drug Dependence Treatment Center

5) Faculty of Medicine, Chiang Mai University

6) 国立成育医療センター研究所成育政策科学研究所

7) 津田塾大学国際関係学科

014 東アジア地域におけるHIV/AIDSの現状と日本の課題

西村由実子^{1,2,3)}、小堀栄子^{1,2,3)}、森重裕子^{1,2,3)}、呉 銀煥^{4,5)}、木原雅子^{1,2)}、木原正博^{1,2)}

1) 京都大学医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野

2) 国連合同エイズ計画共同センター

3) 財団法人エイズ予防財団

4) 京都大学医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野

5) 韓国農村振興庁農村資源開発研究所

015 カンボジア・プノンペン市における結核／エイズ対策活動報告（CENAT/JICAカンボジア国家結核対策プロジェクト）

劔 陽子^{1,2)}、杉山達朗^{1,2)}、山田紀夫¹⁾、石川信克¹⁾

1) 結核予防会結核研究所国際協力部

2) CENAT/JICAカンボジア国家結核対策プロジェクト

016 High Risk Status of HIV-1 Infection in the Very Low Epidemic Country, Mongolia, 2007
Jagdagsuren Davaalkham、Hachiya Atsuko、Tsuchiya Kiyoto、Gatanaga Hiroyuki、Oka Shinichi

AIDS Clinical Center, International Medical Center of Japan

一般演題（口演）

■日時：11月26日（水）16：00～17：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-5）予防行動

座長 東 優子

（大阪府立大学人間社会学部）

小堀 栄子

（京都大学医学研究科）

017 青年期女性における金銭が介在する性行動とセクシュアルヘルス

野坂祐子¹⁾、内海千種²⁾、東 優子³⁾、徐 淑子⁴⁾

- 1) 大阪教育大学
- 2) 徳島大学
- 3) 大阪府立大学
- 4) 新潟県立看護大学

018 計画的行動理論を用いた大学1年生の性活動とコンドーム使用意思の予測に関する検討

三砂恵理¹⁾、山田 治¹⁾、川畑奈菜恵¹⁾、徳久義治²⁾

- 1) 山口大学医学部保健学科
- 2) 山口済生会病院

019 16歳未満の性交開始を遅らせるためのHIV予防プログラムの評価

永松美雪¹⁾、佐藤 武²⁾

- 1) 佐賀大学医学系研究科
- 2) 佐賀大学保健管理センター

020 大学生ピアエデュケーターによる性感染症予防教育プログラム開発のためのタイHIV研修の報告と評価

濱田維子、力武由美、岡村晃子、中村 愛、
佐川めぐみ、鮫島美紗子

日本赤十字九州国際看護大学

■日時：11月26日（水）11：00～12：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-6）薬物動態・服薬アドヒアランス

座長 吉野 宗宏

（国立病院機構大阪医療センター薬剤科）

林 滋

（京都第一赤十字病院薬剤部）

021 Warfarinと抗HIV薬併用症例の検討

本田元人¹⁾、渦永博之¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
中村春香¹⁾、田里大輔¹⁾、柳沢邦雄^{1,2)}、渡辺恒二¹⁾、
神村麻穂子¹⁾、渡邊珠代¹⁾、塚田訓久¹⁾、矢崎博久¹⁾、
田沼順子¹⁾、本田美和子¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立病院機構東埼玉病院

022 抗HIV薬における簡易懸濁法の検討

関根祐介^{1,2)}、横張敦子¹⁾、辻真理子¹⁾、宍戸紀与¹⁾、
佐藤由利子¹⁾、金子亜希子¹⁾、中村 薫¹⁾、
明石貴雄¹⁾、鈴木隆史²⁾、天野景裕²⁾、西田恭治²⁾、
山元泰之²⁾、福武勝幸²⁾

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院臨床検査医学講座

023 簡易懸濁法を用いた抗HIV薬投与の有用性について

増田純一¹⁾、千田昌之¹⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、
三上二郎¹⁾

- 1) 国立国際医療センター戸山病院薬剤部
- 2) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

024 駒込病院におけるHAARTの変遷～最近4年間について～

佐野俊彦¹⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾、
味澤 篤²⁾

- 1) 東京都立駒込病院薬剤科
- 2) 東京都立駒込病院感染症科

一般演題（口演）

■日時：11月26日（水）16：00～17：00

■会場：第6会場（会議室CD）

0-7）肝炎

座長 澤田 暁宏

（兵庫医科大学血液内科）

三田 英治

（国立病院機構大阪医療センター消化器科）

025 HIV/HCV重複感染患者における肝生検結果と肝炎治療成績の検討

齊藤誠司¹⁾、鍵浦文子¹⁾、小川良子³⁾、藤井輝久¹⁾、高田 昇¹⁾、木村昭郎²⁾

1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室
2) 広島大学原爆放射線医科学研究所血液内科
3) 広島大学病院看護部

026 血友病合併のHIV/HCV重複感染者に対するC型肝炎治療

髭 修平¹⁾、中西 満¹⁾、中馬 誠¹⁾、堀本啓大¹⁾、小原俊央¹⁾、小野澤真弘¹⁾、加畑 馨¹⁾、近藤 健¹⁾、橋野 聡¹⁾、田中淳司²⁾、今村雅寛²⁾、遠藤知之³⁾、佐藤典宏³⁾、小池隆夫³⁾、渡部恵子⁴⁾、大野稔子⁴⁾、浅香正博¹⁾

1) 北海道大学病院第3内科
2) 北海道大学病院血液内科I
3) 北海道大学病院第2内科
4) 北海道大学病院看護部

027 HAART導入時に急性肝障害を生じ、1ヶ月後にHBe抗体陽性となったHBVキャリアの1例

鯉淵智彦、中村仁美、菊地 正、前田卓哉、遠藤宗臣、藤井 毅、小田原隆、岩本愛吉

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

028 大阪府のHIV/HBV重感染例におけるHBV遺伝子型別

小島洋子、川畑拓也、森 治代

大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課

■日時：11月27日（木）9：30～10：30

■会場：第3会場（さくら西）

0-8）悪性腫瘍

座長 上平 朝子

（国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科）

古西 満

（奈良県立医科大学感染症センター）

029 HIV感染者に見られた悪性腫瘍の頻度

安岡 彰¹⁾、栗原慎太郎¹⁾、本田章子¹⁾、渡辺珠代²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

1) 長崎大学附属病院感染制御教育センター
2) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

030 当センターで経験したHAART時代のAIDS関連カポジ肉腫90例の検討

田里大輔、中村春香、西島 健、青木孝弘、柳澤邦雄、神村麻穂子、渡辺恒二、渡辺珠代、本田元人、塚田訓久、矢崎博久、田沼順子、本田美和子、照屋勝治、湯永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

031 HIV感染症に合併した非AIDS関連悪性腫瘍の特徴について

永田安伸、村松 崇、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤

東京都立駒込病院感染症科

032 精巣腫瘍を契機に発見されたHIV感染症の2例

澤田暁宏、日笠 聡、徳川多津子、小川啓恭

兵庫医科大学血液内科

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）10：30～11：45

■会場：第3会場（さくら西）

O-9）日和見疾患

座長 濱口 元洋

（国立病院機構名古屋医療センターエイズ・感染症診療部）

上田 良弘

（洛西ニュータウン病院内科）

033 当院におけるHAART時代の日和見感染症の動向

渡邊珠代¹⁾、安岡 彰²⁾、中村春香¹⁾、青木孝弘¹⁾、西島 健¹⁾、田里大輔¹⁾、神村麻穂子¹⁾、渡辺恒二¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、本田美和子¹⁾、湯永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
2) 長崎大学医学部歯学部附属病院感染制御教育センター

034 HIV陽性者における慢性腎臓病の有病率とその背景

四本美保子、天野景裕、清田育男、大瀧 学、藤田 進、鈴木隆史、西田恭治、香川和彦、山元泰之、福武勝幸

東京医科大学病院

035 Parvovirus B19による輸血依存性貧血をきたし、抗HIV療法にて軽快したAIDSの1例

渡邊 大¹⁾、小川吉彦¹⁾、坂東裕基¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、谷口智宏¹⁾、富成伸次郎¹⁾、大谷成人¹⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨²⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

036 ニューモシスチス肺炎治療中にST合剤減感作療法を施行したAIDSの1例

徳川多津子、澤田暁宏、日笠 聡、小川啓恭

兵庫医科大学病院血液内科

037 出血性のCMV腸炎治療中に小腸穿孔をきたし死亡したAIDSの1例

松尾祐介、中村 朗、蔵本浩一、岩淵千太郎、神戸敏行、鈴木良夫

旭中央病院

■日時：11月27日（木）13：00～14：00

■会場：第3会場（さくら西）

O-10）母子感染1

座長 大島 教子

（獨協医科大学産科婦人科学教室）

辻 麻理子

（国立病院機構九州医療センター感染症対策室／財団法人エイズ予防財団）

038 妊婦HIV検査実施についての検討—妊婦HIV一次検査実施マニュアル作成の経緯と反応を中心に—

矢永由里子¹⁾、辻麻理子^{1,2)}、高田知恵子³⁾、今井 敏幸¹⁾、林 公一⁴⁾、蓮尾泰之²⁾、明城光三⁵⁾、吉野直人⁶⁾、喜多恒和⁷⁾、稲葉憲之⁸⁾、和田裕一⁵⁾

1) 財団法人エイズ予防財団
2) 国立病院機構九州医療センター
3) 秋田大学教育文化学部
4) 国立病院機構関門医療センター
5) 国立病院機構仙台医療センター
6) 岩手医科大学細菌学
7) 帝京大学医学部
8) 独協医科大学

039 妊娠を契機にHIVが判明した周産期管理目的新規患者のニーズ調査

山田由紀¹⁾、石垣今日子¹⁾、大金美和¹⁾、杉野祐子¹⁾、武田謙治¹⁾、伊藤 紅²⁾、八鍬類子²⁾、荒井理那²⁾、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院
2) 財団法人エイズ予防財団

040 妊娠女性に対するHIVスクリーニング検査実施率の推移と新たな問題点

吉野直人、喜多恒和、蓮尾泰之、林 公一、矢永由里子、高橋尚子、鈴木智子、塚原優己、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究」班

041 HIV感染夫婦の生殖補助医療の実績と安全性：HIV陽性同士の生殖補助医療プロトコール

花房秀次¹⁾、小島賢一¹⁾、加藤真吾²⁾、兼子 智³⁾、高桑好一⁴⁾、久慈直明⁵⁾、木内 英¹⁾、加嶋克則⁴⁾、吉村泰典⁵⁾、田中憲一⁴⁾、和田裕一⁶⁾

1) 荻窪病院血液科
2) 慶應義塾大学微生物
3) 東京歯科大学市川病院産婦人科
4) 新潟大学産婦人科
5) 慶應義塾大学産婦人科
6) 国立病院機構仙台医療センター産婦人科

一般演題 (口演)

■日時：11月27日 (木) 14:00~15:00

■会場：第3会場 (さくら西)

O-11) 母子感染2

座長 吉野 直人

(岩手医科大学医学部細菌学講座)

國方 徹也

(埼玉医科大学総合医療センター)

042 本邦におけるHIV感染妊娠の動向と母子感染予防対策の現状

清水泰樹^{1,9)}、喜多恒和^{1,9)}、吉野直人^{2,9)}、
箕浦茂樹^{3,9)}、松田秀雄^{4,9)}、高野政志^{4,9)}、
宮崎泰人^{1,9)}、外川正生^{5,9)}、塚原優己^{6,9)}、
稲葉憲之^{7,9)}、和田裕一^{8,9)}

- 1) 帝京大学医学部産婦人科
- 2) 岩手医科大学医学部細菌学
- 3) 国立国際医療センター産婦人科
- 4) 防衛医科大学校病院産婦人科
- 5) 大阪市立総合医療センター小児救急科
- 6) 国立成育医療センター周産期診療部産科
- 7) 獨協医科大学産婦人科
- 8) 国立病院機構仙台医療センター
- 9) 厚生省科研費エイズ対策研究事業「周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究」班

043 わが国におけるHIV母子感染の現況一病院小児科への全国アンケート調査から一

尾崎由和^{1,2)}、外川正生²⁾、葛西健郎²⁾、大場 悟²⁾、
國方徹也²⁾、浅田和豊²⁾、山中純子²⁾、吉野直人²⁾、
榎本てる子²⁾、金田次弘²⁾、矢永由里子²⁾、
辻麻理子²⁾、戸谷良造²⁾、喜多恒和²⁾、塚原優己²⁾、
稲葉憲之²⁾、和田 裕一²⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター小児科
- 2) 平成20年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究」班

044 母子感染予防における出生児のAZT薬物動態と副作用

木内 英¹⁾、岩室紳也²⁾、相楽裕子³⁾、大木 茂⁴⁾、
元重京子⁴⁾、近藤真規子⁵⁾、今井光信⁵⁾、花房秀次¹⁾、
加藤真吾⁶⁾

- 1) 荻窪病院血液科
- 2) 厚木市立病院泌尿器科
- 3) 横浜市立市民病院感染症部
- 4) 聖隷浜松病院総合周産母子センター新生児部門
- 5) 神奈川県衛生研究所微生物部エイズ・インフルエンザウイルスグループ
- 6) 慶応義塾大学医学部微生物・免疫学教室

045 HIV母子感染予防対策マニュアル・改訂第5版の概要

谷口晴記¹⁾、塚原優己²⁾、井上孝美³⁾、山田里佳⁴⁾、
大金美和⁵⁾、辻麻理子⁶⁾、内山正子⁷⁾、渡邊英恵⁸⁾、
源河いくみ⁹⁾、吉野直人¹⁰⁾、外川正生¹¹⁾、
喜多恒和¹²⁾、稲葉憲之¹³⁾、和田裕一¹⁴⁾

- 1) 三重県立総合医療センター産婦人科
- 2) 国立成育医療センター周産期診療部産科
- 3) ローズベルクリニック
- 4) 石川県立中央病院産婦人科
- 5) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 6) 国立病院機構九州医療センター感染症対策室
- 7) 新潟大学病院感染管理部
- 8) 国立病院機構名古屋医療センター
- 9) 東京ミッドタウンクリニック
- 10) 岩手大学医学部細菌学講座
- 11) 大阪市立総合医療センター小児科
- 12) 帝京大学医学部産婦人科
- 13) 獨協医科大学産科婦人科
- 14) 国立病院機構仙台医療センター産婦人科

■日時：11月27日 (木) 15:00~16:00

■会場：第3会場 (さくら西)

O-12) 薬剤耐性

座長 湯永 博之

(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

横幕 能行

(国立病院機構名古屋医療センター)

046 既治療患者における薬剤耐性(多剤耐性)HIVの現状調査

宮崎菜穂子^{1,2,3)}、松下修三⁴⁾、藤井 毅³⁾、
岩本愛吉³⁾、杉浦 亙^{1,5)}、

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) 東京大学医科学研究所
- 4) 熊本大学エイズ学研究センター
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

047 逆転写酵素connectionとRNase H subdomainの多様性と薬剤感受性に及ぼす影響

蜂谷敦子^{1,2)}、嶋根和毅³⁾、児玉栄一³⁾、小泉寛和²⁾、
湯永博之¹⁾、松岡雅雄³⁾、滝口雅文²⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野
- 3) 京都大学ウイルス研究所ウイルス制御研究領域

048 複数のプロテアーゼ阻害剤耐性臨床分離株を用いて誘導したtipranavir高度耐性HIV変異体の解析

青木 学^{1,2)}、関 康博¹⁾、天野将之¹⁾、東條 靖¹⁾、
満屋裕明¹⁾

- 1) 熊本大学医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部
- 2) 熊本保健科学大学衛生技術学科

一般演題 (口演)

049 薬剤耐性ウイルスの感染性分子クローンを軸にしたGenotypeとPhenotypeをつなぐ実験解析系

巽 正志¹⁾、梅木優子¹⁾、竹川奈穂¹⁾、松田昌和^{1,2)}、橋本 修²⁾、西澤雅子¹⁾、石古博昭²⁾、杉浦 亙^{1,3)}、山本 直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 三菱化学メディエンス株式会社
3) 国立病院機構名古屋医療センター

■日時：11月27日 (木) 16:00~17:00

■会場：第3会場 (さくら西)

O-13) 抗HIV療法1

座長 後藤 哲志

(大阪市立総合医療センター感染症センター)

西田 恭治

(国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科)

050 HAARTによるHIVウイルス量抑制力の時代変遷について

古賀道子¹⁾、宮崎菜穂子^{2,3)}、前田卓哉⁴⁾、中村仁美¹⁾、鯉渕智彦¹⁾、遠藤宗臣⁴⁾、藤井 毅⁴⁾、小田原隆¹⁾、岩本愛吉¹⁾

1) 東京大学医科学研究所先端医療センター感染症分野
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
3) 財団法人エイズ予防財団
4) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

051 HAART後ウイルス学的寛解症例における末梢血CD4増加数

藤井輝久¹⁾、高田 昇^{1,2)}、斎藤誠司²⁾、鍵浦文子²⁾、木村昭郎³⁾

1) 広島大学病院輸血部
2) 広島大学病院エイズ医療対策室
3) 広島大学病院血液内科

052 HBs抗原陽性HIV患者に導入したTDF/3TC (FTC)を含む抗HIV療法の効果

神村麻穂子、中村春香、西島 健、青木孝弘、田里大輔、渡辺恒二、渡邊珠代、本田元人、矢崎博久、塚田訓久、田沼順子、本田美和子、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院

053 HAART開始に伴うネオプテリンを含めた免疫活性化マーカーの推移

小谷岳春¹⁾、青木 剛¹⁾、上田幹夫¹⁾、山田三枝子²⁾

1) 石川県立中央病院血液免疫内科
2) 石川県立中央病院/財団法人エイズ予防財団

■日時：11月27日 (木) 13:00~14:15

■会場：第4会場 (小ホール)

O-14) 宿主因子1

座長 中山 英美

(大阪大学微生物病研究所)

藤田 美歌子

(熊本大学医学薬学研究所)

054 カプシド変異とウイルス増殖

中山英美、Song Haihan、塩田達雄

大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

055 HIV-2感染阻害におけるアカゲザル、カニクイザルTRIM5 α の違い

河野 健、塩田達雄、中山英美

大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

056 プロリルイソメラーゼPin1依存性HIV脱殻過程の解析

井上睦美¹⁾、三隅将吾¹⁾、高宗暢暁¹⁾、庄司省三^{1,2)}

1) 熊本大学医学薬学研究所薬学生化学分野
2) 熊本保健科学大学

057 HIV-1インテグラーゼと宿主因子Gemin2との結合はHIV-1複製に重要である

西辻裕紀^{1,2)}、高津 哲¹⁾、多々良恵美¹⁾、神奈木真理¹⁾、増田貴夫¹⁾

1) 東京医科歯科大学歯学総合研究科免疫治療学
2) 財団法人エイズ予防財団

058 HIV-1感染におけるdsDNA認識分子DAI (ZBP1/DLM1) の影響

林 隆也¹⁾、古川裕之¹⁾、西辻裕紀^{1,2)}、長谷川温彦¹⁾、増田貴夫¹⁾、神奈木真理¹⁾

1) 東京医科歯科大学歯学総合研究科免疫治療学
2) 財団法人エイズ予防財団

一般演題 (口演)

■日時：11月27日 (木) 14:15~15:30

■会場：第4会場 (小ホール)

O-15) 宿主因子2

座長 鈴木 陽一

(京都大学ウイルス研究所宿主要因解析チーム)

櫻木 淳一

(大阪大学微生物病研究所感染機構研究部門ウイルス感染制御分野)

059 TAP-MS法によるインテグラーゼ結合因子 Huwe1の同定とその解析

山元誠司^{1,2)}、大川克也³⁾、小川加那子⁴⁾、
増田貴夫⁵⁾、小柳義夫¹⁾、鈴木陽一⁴⁾

- 1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
- 2) 京大生命科学研究科
- 3) 京都大学医学研究科生体分子解析グループ
- 4) 京都大学ウイルス研究所宿主要因解析チーム
- 5) 東京医科歯科大学歯学総合研究科免疫治療学

060 APOBEC3GのHIV-1 Vif に依存したユビキチン化サイトに関する研究

岩谷靖雅¹⁾、吉居廣朗¹⁾、武田 哲²⁾、杉浦 互^{1,2)}

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

061 Protein Kinase Aによるリン酸化はAPOBEC3GとVifの相互作用を調節する

白川康太郎^{1,2)}、高折晃史¹⁾、横山 勝³⁾、
松井道志¹⁾、井尾克宏¹⁾、泉 泰輔¹⁾、佐藤裕徳³⁾、
内山 卓¹⁾

- 1) 京都大学医学研究科血液・腫瘍内科学
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析センター

062 RINGフィンガー蛋白質BCA2はHIV-1粒子産生を阻害する

宮川 敬、梁 明秀、大庭賢二、村上 努、
山本直樹

国立感染症研究所エイズ研究センター

063 Small GTPase Rac2によるHIV-1産生抑制

渡部匡史¹⁾、鈴木陽一²⁾、宮澤正顯³⁾、小柳義夫¹⁾

- 1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
- 2) 京都大学ウイルス研究所宿主要因解析チーム
- 3) 近畿大学医学部免疫学

■日時：11月27日 (木) 15:30~16:45

■会場：第4会場 (小ホール)

O-16) 動物モデル

座長 五十嵐 樹彦

(京都大学ウイルス研究所)

芳賀 猛

(宮崎大学獣医微生物学講座)

064 ヒト化マウスにおけるHIV-1の感染指向性と持続産生細胞の同定

佐藤 佳¹⁾、Chuanyi Nie¹⁾、三沢尚子¹⁾、
田中勇悦²⁾、伊藤 守³⁾、小柳義夫¹⁾

- 1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
- 2) 琉球大学医学研究科免疫学分野
- 3) 実験動物中央研究所

065 ウイルス曝露非感染サルモデル開発の試み

仲宗根正¹⁾、網 康至²⁾、梁 明秀¹⁾、山本直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 国立感染症研究所動物管理室

066 nef欠損弱毒生ワクチン免疫ザルに対する急性発症型SHIV攻撃接種後早期でのウイルス動態および免疫細胞の解析

深澤嘉伯、伊吹謙太郎、稲葉一寿、齊藤尚紀、
姫野 愛、平井 郁、松田健太、松山めぐみ、
元原麻貴子、速水正憲、五十嵐樹彦、三浦智行

京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域

067 ワクチン評価に有用なR5指向性SHIVの作製

松田健太、稲葉一寿、伊吹謙太郎、深澤嘉伯、
松山めぐみ、齊藤尚紀、堀池麻里子、平井 郁、
姫野 愛、速水正憲、五十嵐樹彦、三浦智行

京都大学附属ウイルス研究所霊長類モデル研究領域

068 新規HIV-1/サルモデルの開発；新規HIV-1クローンNL-DT5Rはカニクイザル個体内で増殖する

海津雅彦¹⁾、齊藤 暁^{1,3)}、飯島沙幸¹⁾、岩崎優紀¹⁾、
足立昭夫²⁾、野間口雅子²⁾、俣野哲朗³⁾、明里宏文¹⁾

1) 医薬基盤研究所霊長類医学研究センター

2) 徳島大院ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野

3) 東京大学医学研究所感染症国際研究センター感染制御部門微生物学分野

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）9：00～10：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-17）陽性者支援

座長 清水 茂徳

（ライフ・エイズ・プロジェクト（LAP））

岳中 美江

（NPO法人CHARM／財団法人エイズ予防財団）

069 HIV陽性者やその周囲の人への相談サービスにおける新規相談の分析

牧原信也¹⁾、福原寿弥¹⁾、生島 嗣¹⁾、池上千寿子¹⁾、大槻知子²⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

2) 財団法人エイズ予防財団

070 地域におけるHIV陽性者およびその周囲の人のためのグループ・プログラムについての考察

生島 嗣¹⁾、池上千寿子¹⁾、牧原信也¹⁾、福原寿弥¹⁾、矢島 嵩¹⁾、大槻知子²⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

2) 財団法人エイズ予防財団

071 長期療養しているHIV陽性者が語る人生再構築の様相に関する1考察

井上洋士¹⁾、矢島 嵩²⁾、長谷川博史³⁾、生島 嗣²⁾

1) 放送大学

2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

3) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

072 ケースマネジメントスキルを使ったHIV陽性者のための性行動変容支援サービスに関する研究

藤原良次¹⁾、早坂典生¹⁾、橋本 謙²⁾、長谷川博史³⁾、矢島 嵩⁴⁾、間島孝子¹⁾、山縣真矢¹⁾、山田富秋⁵⁾、本郷正武⁶⁾、大北全俊⁷⁾、木原雅子⁸⁾、木原正博⁸⁾

1) りょうちゃんず

2) 岐阜県スクールカウンセラー

3) JaNP+

4) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

5) 松山大学

6) 東北大学

7) 大阪大学

8) 京都大学

■日時：11月27日（木）10：00～11：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-18）陽性者就労

座長 生島 嗣

（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

若林 チヒロ

（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

073 HIV感染症患者における非就労の背景要因に関する研究

高橋佳子^{1,2)}、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、今井公文³⁾、湯永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 国立国際医療センター戸山病院精神科

074 HIV感染者の就労に対する偏見や差別の壁

石谷誓子、大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

075 市立堺病院におけるHIV陽性者の就労状況に関する考察

嶋あずさ¹⁾、松浦基夫²⁾、大成功一³⁾、宇高 歩⁴⁾、澤田恵美⁵⁾、三田洋子⁵⁾

1) 市立堺病院医療サポートセンター

2) 市立堺病院腎・代謝内科

3) 市立堺病院呼吸器内科

4) 市立堺病院薬剤科

5) 市立堺病院看護局

076 HIV感染者における社会資源の活用

石谷誓子、大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）11：00～12：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-19）ソーシャルワーク

座長 伊賀 陽子
（兵庫医科大学病院）
葛田 衣重
（千葉大学病院）

- 077 HIVソーシャルワークの現状と課題
～拠点病院と非拠点病院との比較から～
田中千枝子
日本福祉大学
- 078 厚木市立病院と関係機関による患者及び
家族の在宅療養支援体制の構築
岩室紳也^{1,2)}、岩崎弥生¹⁾、田村裕子¹⁾、岡本未帆³⁾
1) 厚木市立病院
2) 社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター
3) 神奈川県健康福祉部健康増進課
- 079 精神疾患を抱えるHIV陽性者へのソーシャ
ルワーク
渡辺真弓¹⁾、岡本 学¹⁾、長塚美和¹⁾、平島園子²⁾、
今井令子²⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 財団法人エイズ予防財団
- 080 ソーシャルワーク実践過程の評価方法の
考察－第3回中四国ブロックHIV/AIDSソ
ーシャルワーカーネットワーク会議・研
修の成果報告－
大下由美¹⁾、船附祥子²⁾、山川文香³⁾、濱本京子²⁾、
高田 昇⁴⁾、木村昭郎⁵⁾
1) 県立広島大学
2) 広島大学病院エイズ医療対策室
3) 国立病院機構大阪医療センター
4) 広島大学病院輸血部
5) 広島大学病院原爆放射線医学研究所

■日時：11月27日（木）13：00～14：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-20）MSM1

座長 木村 博和
（横浜市健康福祉局）
金子 典代
（財団法人エイズ予防財団／名古屋市立大学看護学部）

- 081 インターネット利用MSMの行動疫学調査
REACH Online 2007－第1報－コンドーム
常用状況とHIV抗体検査受検行動
日高庸晴¹⁾、木村博和²⁾、本間隆之³⁾、市川誠一⁴⁾
1) 関西看護医療大学
2) 横浜市健康福祉局保健事業課
3) 金沢大学医薬保健研究域
4) 名古屋市立大学看護学部
- 082 インターネット利用MSMの行動疫学調査
REACH Online 2007－第2報－HIV陽性者
のHIV感染告知時の状況
日高庸晴¹⁾、木村博和²⁾、本間隆之³⁾、市川誠一⁴⁾
1) 関西看護医療大学
2) 横浜市健康福祉局保健事業課
3) 金沢大学医薬保健研究域
4) 名古屋市立大学看護学部
- 083 大阪地域MSMの人口流動に関する研究
－MSM向け商業施設集積エリアでの人口
推定調査とアンケート調査を基に－
山田創平^{1,2,3)}、鬼塚哲郎^{2,3)}、塩野徳史³⁾、
内田 優³⁾、町登志雄³⁾、鍵田いずみ³⁾、辻 宏幸^{1,3)}、
後藤大輔^{1,3)}、市川誠一⁴⁾
1) 財団法人エイズ予防財団
2) 京都産業大学
3) MASH大阪
4) 名古屋市立大学
- 084 GISによるMSM産業の社会構造分析－沖縄
県におけるHIV感染者増加の社会的背景
加藤 慶
横浜国立大学環境情報研究院社会環境と情報部門環境社会システム学分野

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）14：00～15：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-21）MSM2

座長 日高 庸晴

（関西看護医療大学看護学部）

山田 創平

（財団法人エイズ予防財団）

085 NLGR(Nagoya Lesbian & Gay Revolution) 2008でのHIV抗体検査会に参加した東海地域在住MSMの性自認と性行動

新ヶ江章友^{1,2)}、金子典代^{1,2)}、内海 眞³⁾、市川誠一¹⁾

1) 名古屋市立大学看護学研究科

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 国立病院機構名古屋医療センター

086 大阪地域の中老年MSMにおけるMASH大阪の介入認知および予防行動に関する研究

市川誠一¹⁾、金子典代^{1,5)}、山田創平^{2,5)}、Koerner Jane^{1,5)}、大森佐知子¹⁾、木村博和³⁾、鬼塚哲郎^{2,4)}、辻 宏幸²⁾、後藤大輔^{2,5)}、町登志男²⁾、塩野徳史²⁾

1) 名古屋市立大学看護学研究科

2) MASH大阪

3) 横浜市保健福祉局

4) 京都産業大学

5) 財団法人エイズ予防財団

087 ゲイバーでのワークショップ型啓発手法「LIFEGUARD」に参加したMSMの性行動調査と初交年齢

嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、鳩貝啓美¹⁾、宮近敬三¹⁾、飯塚信吾¹⁾、河口和也²⁾

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレスビアンの会

2) 広島修道大学

088 当院におけるHIV/AIDS患者のセクシャリティ変遷と今後の予防啓発について

林 滋^{1,2)}、大野聖子¹⁾

1) 京都第一赤十字病院

2) 立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科

■日時：11月27日（木）15：00～16：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-22）カウンセリング1

座長 仲倉 高広

（国立病院機構大阪医療センター臨床心理室）

矢永 由里子

（財団法人エイズ予防財団）

089 派遣カウンセリング制度の効果的運用に関する研究

神谷昌枝¹⁾、石川雅子²⁾、一色ミユキ³⁾、菊池恵美子^{4,5)}、佐藤愛子^{5,6)}、高橋義博⁷⁾、高田知恵子⁸⁾、辻麻理子^{5,9)}、濱口元洋⁴⁾、牧野麻由子¹⁰⁾、山中京子¹¹⁾

1) 東京都福祉保健局

2) 千葉県健康福祉部

3) 栃木県東健康福祉センター

4) 国立病院機構名古屋医療センター

5) 財団法人エイズ予防財団

6) 国立病院機構仙台医療センター

7) 大館市立総合病院

8) 秋田大学教育文化学部

9) 国立病院機構九州医療センター

10) 新潟大学医学部総合病院

11) 大阪府立大学人間社会学部

090 近畿ブロックにおける自治体派遣カウンセリングの利用者数の推移～2000年度からの経年変化を通して～

森田眞子¹⁾、大谷ありさ¹⁾、仲倉高広¹⁾、早林綾子^{1,2)}、藤本恵里¹⁾、安尾利彦¹⁾、白阪琢磨³⁾、上平朝子⁴⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療センター

4) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

091 地方都市におけるHIV診療の現状—カウンセラーの立場から—

鶴見広美^{1,3)}、後藤尚絵²⁾、笠原千嗣^{1,2)}、兼村信宏²⁾、原 武志²⁾、鶴見 寿^{1,2)}、森脇久隆²⁾

1) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター

2) 岐阜大学医学部附属病院第一内科

3) 岐阜大学医学部附属病院看護部

092 石川県立中央病院におけるカウンセリングの現状報告と今後の課題

北志保里^{1,2)}、山下美津江²⁾、浅井いづみ^{2,3)}、上田幹夫²⁾

1) 財団法人エイズ予防財団

2) 石川県立中央病院

3) 石川県健康福祉部健康推進課

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）16：00～17：00

■会場：第5会場（会議室AB）

O-23）カウンセリング2

座長 森田 眞子

（国立病院機構大阪医療センター臨床心理室）

石川 雅子

（千葉県健康福祉部）

093 カウンセリングの機能とカウンセラー同士の連携の類型化の試み～地域に応じたカウンセリング体制の構築を目指して～

仲倉高広¹⁾、尾谷ゆか²⁾、佐藤愛子^{3,10)}、
牧野麻由子⁴⁾、北志保里^{5,10)}、菊池恵美子^{6,10)}、
喜花伸子^{7,10)}、辻麻理子^{8,10)}、山中京子⁹⁾、
白阪琢磨¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 北海道大学病院
- 3) 国立病院機構仙台医療センター
- 4) 新潟大学医歯学総合病院
- 5) 石川県立中央病院
- 6) 国立病院機構名古屋医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 国立病院機構九州医療センター
- 9) 大阪府立大学
- 10) 財団法人エイズ予防財団

094 初診患者におけるHIV専門看護師と臨床心理士の連携状況の報告

下司有加¹⁾、安尾利彦²⁾、仲倉高広³⁾、上平朝子³⁾、
白阪琢磨⁴⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター看護部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター精神神経科
- 3) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科
- 4) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

095 東京都南新宿検査・相談室の相談業務に関する報告～相談の目的・課題は達成されているか～

櫻井具子¹⁾、小島弘敬¹⁾、今井敏幸²⁾

- 1) 東京都南新宿検査・相談室
- 2) 財団法人エイズ予防財団流動研究員

096 自治体派遣カウンセラーの活用拡大に関する研究—HIV検査相談研修会の実践からの考察—

阪木淳子¹⁾、辻麻理子³⁾、長与由紀子²⁾、井上 緑^{3,4)}、
米山朋子¹⁾、首藤美奈子¹⁾、山本政弘²⁾

- 1) 福岡県保健医療介護部
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 財団法人エイズ予防財団
- 4) 国立病院機構九州医療センター感染症対策室

■日時：11月27日（木）9：00～10：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-24）看護1

座長 豊島 裕子

（大阪市立総合医療センター）

関矢 早苗

（東京都立駒込病院看護部）

097 HIV患者への関わりを考察する

松田和枝、岸浪寿男、澤田かおり、昆野順子、
松田みち子

東北大学病院

098 転院を余儀なくされた血友病患者の思い

石上 香、伊藤廣美、上田順子

旭川医科大学病院

099 社会的背景の複雑な患者の退院調整を振り返って～発達遅滞の患者の一事例を通して～

長與由紀子¹⁾、城崎真弓¹⁾、辻麻理子²⁾、本松由紀³⁾、
首藤美奈子³⁾、安藤 仁¹⁾、南 留美¹⁾、
山本政弘¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) 福岡県保健医療介護部保健衛生課

100 HIV/AIDS患者の脂質代謝コントロールのための健康行動支援の検討

八鍬類子^{1,2)}、杉野祐子¹⁾、島田 恵¹⁾、荒井理那^{1,2)}、
伊藤 紅^{1,2)}、石垣今日子¹⁾、山田由紀¹⁾、
武田謙治¹⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、遠藤貴子³⁾、
西垣昌和³⁾、数間恵子³⁾、瀧永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療センター戸山病院
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) 東京大学医学研究科成人看護学

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）10：00～11：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-25）看護2

座長 山田 由紀

（国立国際医療センター戸山病院）

奥村 かおる

（国立病院機構名古屋医療センター）

101 当院におけるHIV陽性者への禁煙支援
向井三穂子¹⁾、仲間千賀子¹⁾、椎木創一²⁾、
玉城 仁²⁾、遠藤和郎²⁾、友利幹夫³⁾、吉本容子³⁾、
呉屋多恵子³⁾

1) 沖縄県立中部病院看護部

2) 沖縄県立中部病院内科

3) 沖縄県立中部病院薬局

102 地域で何が出来るか HIV抗体有料検査受
検者との感染予防行動面談から

佐々木育子¹⁾、佐野仁美¹⁾、柴田雅子¹⁾、小林 一²⁾

1) JA北海道厚生連帯広厚生病院看護部

2) JA北海道厚生連帯広厚生病院第4内科

103 広島大学病院におけるHIV感染者に対する
外来患者満足度調査

木下一枝¹⁾、山田雅一¹⁾、新家幸子¹⁾、小川良子¹⁾、
鍵浦文子²⁾、和田良香¹⁾

1) 広島大学病院看護部

2) 広島大学病院／財団法人エイズ予防財団

104 新規受診患者の動向と療養上の課題の傾向
村上未知子

東京大学医科学研究所附属病院

■日時：11月27日（木）11：00～12：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-26）看護3

座長 城崎 真弓

（国立病院機構九州医療センター）

池田 和子

（国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター）

105 中国・四国ブロックのHIV/AIDS看護の現状
とブロック拠点病院としての活動評価

鍵浦文子^{1,5)}、小川良子¹⁾、渡部恵子^{2,5)}、武田謙治³⁾、
大金美和³⁾、疋田美鈴⁴⁾、荒井理那^{3,5)}、武藤 愛⁴⁾、
石垣今日子³⁾、池田和子³⁾、島田 恵³⁾

1) 広島大学病院

2) 北海道大学病院

3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

4) 国立病院機構仙台医療センター

5) 財団法人エイズ予防財団

106 エイズ拠点病院における看護の現状と
HIV/AIDS研修ニーズ

武田謙治¹⁾、石垣今日子¹⁾、鍵浦文子²⁾、小川良子²⁾、
疋田美鈴³⁾、武藤 愛³⁾、荒井理那⁴⁾、大金美和¹⁾、
渡部恵子⁵⁾、島田 恵¹⁾、池田和子¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

2) 広島大学病院

3) 国立病院機構仙台医療センター

4) 財団法人エイズ予防財団

5) 北海道大学病院

107 HIV担当看護師の患者支援の現状

下司有加¹⁾、治川知子¹⁾、龍 香織¹⁾、垣端美帆¹⁾、
立花 泉¹⁾、古金秀樹²⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨^{3,4)}

1) 国立病院機構大阪医療センター看護部

2) 国立病院機構大阪医療センター／財団法人エイズ予防財団

3) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

4) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

108 外来療養指導体制における看護師配置が
多剤併用療法の効果に与える影響の検討
島田 恵¹⁾、西垣昌和²⁾、杉野祐子¹⁾、池田和子¹⁾、
徐 廷美²⁾、数間恵子²⁾

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

東京大学医学系研究科成人看護学分野

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）13：00～14：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-27）臨床：検査1

座長 近藤 真規子

（神奈川県衛生研究所）

蜂谷 敦子

（国立国際医療センター／熊本大学エイズ学研究センター）

109 日赤献血由来陽性血漿による感染研HIVパ ネル整備

巽 正志¹⁾、竹川奈穂¹⁾、田角栄二¹⁾、武田 哲¹⁾、
阪井弘治¹⁾、柚木久雄⁴⁾、百瀬俊也³⁾、日野 学³⁾、
田所憲治³⁾、山口一成²⁾、水落利男²⁾、山本直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 国立感染症研究所血液・安全性研究部

3) 日本赤十字社血液事業本部

4) 東京都西赤十字血液センター

110 感染性分子クローンによる第4世代抗体・ 抗原同時測定HIV診断キットの抗原検出感 度の比較

巽 正志¹⁾、梅木優子¹⁾、竹川奈穂¹⁾、水落利男²⁾、
山本直樹¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) 国立感染症研究所血液・安全性研究部

111 常温保存可能な第4世代HIV血液検査ELISA キットの開発

田中礼子¹⁾、山本直樹²⁾、田中勇悦¹⁾

1) 琉球大学医学研究科免疫学分野

2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

112 HIV-1 RNA定量キットのコントロールサー ベイ

田中理恵¹⁾、古谷茂之²⁾、林 邦彦²⁾、今井光信³⁾、
加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

2) ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

3) 神奈川県衛生研究所

■日時：11月27日（木）14：00～15：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-28）臨床：検査2

座長 天野 景裕

（東京医科大学臨床検査医学講座）

伊部 史朗

（国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター）

113 HIV-1 RNA測定法のリアルタイムPCR法へ の変更に伴う問題点

四本美保子、山元泰之、清田育男、大瀧 学、
藤田 進、鈴木隆史、西田恭治、天野影裕、
香川和彦、福武勝幸

東京医科大学病院

114 汎用リアルタイムPCR装置を用いたHIV-1 RNA定量法の検討

近藤真規子¹⁾、田中理恵²⁾、須藤弘二^{1,2)}、
佐野貴子¹⁾、岩室紳也³⁾、倉井華子⁴⁾、立川夏夫⁴⁾、
相楽裕子⁴⁾、加藤真吾²⁾、今井光信¹⁾

1) 神奈川県衛生研究所微生物部

2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

3) 厚木市立病院

4) 横浜市長市民病院

115 TaqMan PCR 定性法によるHIV-RNA測定 の臨床的意義に関する検討

遠藤知之¹⁾、藤澤真一²⁾、西尾充史¹⁾、山本 聡¹⁾、
小原雅人³⁾、橋野 聡⁴⁾、今村雅寛⁵⁾、佐藤典宏⁶⁾、
小池隆夫¹⁾

1) 北海道大学病院第二内科

2) 北海道大学病院検査・輸血部

3) 財団法人エイズ予防財団

4) 北海道大学病院第三内科

5) 北海道大学病院血液内科I

6) 北海道大学病院高度先進医療支援センター

116 リアルタイムPCR法（TaqMan法）による HIV-1 RNA定量法の治療時の安全域の推定 について

立川夏夫、倉井華子、吉村幸治

横浜市長市民病院

一般演題（口演）

■日時：11月27日（木）15：00～16：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-29）クリニック

座長 西村 有史

（行橋厚生病院）

源河 いくみ

（東京ミッドタウンクリニック）

117 診療所におけるHIV感染症診療の試み—1

河村祐貴子、野田和子、荒金和子、根岸昌功

ねぎし内科診療所

118 HIV診療所運営の問題点—1

根岸昌功、野田和子、荒金和子、河村祐貴子

ねぎし内科診療所

119 市中クリニックに求められるHIV診療のあり方

村上太吾、三木 猛、加藤朋子、井戸田一朗

しらかば診療所

120 しらかば診療所を受診する患者の臨床的解析

井戸田一朗、三木 猛、加藤朋子、村上太吾

しらかば診療所

■日時：11月27日（木）16：00～17：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-30）歯科

座長 高木 律男

（新潟大学医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野）

有家 巧

（国立病院機構大阪医療センター歯科口腔外科）

121 当院に通院しているHIV感染者の歯科受診についての検討

今村顕史、村松 崇、柳澤如樹、菅沼明彦、

味澤 篤

東京都立駒込病院感染症科

122 沖縄県における歯科医療体制構築に関する活動報告

前田憲昭¹⁾、溝部潤子²⁾、吉川博政³⁾、山本正弘⁴⁾、
健山正男⁵⁾、砂川 元⁶⁾、新垣敬一⁶⁾、中川裕美子⁷⁾

1) 医療法人社団皓歯会

2) 神戸常盤大学短期大学部

3) 国立病院機構九州医療センター口腔外科

4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

5) 琉球大学分子病態感染症学分野

6) 琉球大学顎顔面口腔機能再建学分野

7) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

123 神奈川県HIV歯科診療ネットワーク運用開始後2年間の検討

筑丸 寛¹⁾、上田敦久²⁾、松井義郎¹⁾、小森康雄³⁾、
泉福英信⁴⁾、金子明寛⁵⁾、池田正一⁶⁾、藤内 祝¹⁾

1) 横浜市立大学医学研究科顎顔面口腔機能制御学

2) 横浜市立大学医学研究科病態免疫制御内科学

3) 東京医科大学医学部口腔外科学講座

4) 国立感染症研究所細菌第一部

5) 東海大学医学部外科学系口腔外科

6) 神奈川歯科大学附属横浜研修センター総合歯科学

124 HIV感染者歯科医療に関する臨床研修の教育効果について

柿澤 卓¹⁾、高久勇一朗¹⁾、小林弥生¹⁾、古澤成博²⁾、
今村顕史³⁾

1) 東京歯科大学水道橋病院口腔外科

2) 東京歯科大学水道橋病院総合歯科

3) 東京都立駒込病院感染症科

■日時：11月28日（金）13：00～14：00

■会場：第3会場（さくら西）

O-31）抗HIV療法2

座長 田邊 嘉也

（新潟大学医歯学総合病院）

今村 顕史

（東京都立駒込病院感染症科）

125 多剤耐性HIV感染血友病患者におけるインテグラーゼ阻害剤(MK-0518)とdarunavir併用療法の効果と安全性の検討

花房秀次、木内 英、和田育子、石倉美緒、

小島賢一

荻窪病院血液科

126 DarunavirとRaltegravirの併用が奏効した多剤耐性の症例

森 尚義¹⁾、谷口晴記²⁾

1) 三重県立総合医療センター薬剤部

2) 三重県立総合医療センター産婦人科

一般演題 (口演)

- 127 超多剤耐性患者における新規抗HIV薬 Etravirin、Darunavir、Raltegravirの併用効果
中村仁美¹⁾、宮崎菜穂子²⁾、藤井 毅³⁾、小田原隆¹⁾、岩本愛吉^{1,3)}

1) 東京大学医科学研究所感染症研究部
2) 東京大学医学部附属病院薬剤部
3) 東京大学医学部附属病院感染免疫内科

- 128 新規抗HIV薬 (Darunavir, Raltegravir, Etravirine) の使用経験
上平朝子¹⁾、大谷成人¹⁾、富成伸次郎¹⁾、坂東裕基¹⁾、谷口智宏¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、小川吉彦¹⁾、矢倉裕輝²⁾、吉野宗宏²⁾、渡邊 大^{1,3)}、白阪琢磨^{1,3)}

1) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科
2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科
3) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

■日時：11月28日 (金) 14:00~15:00

■会場：第3会場 (さくら西)

O-32) 抗HIV療法3

座長 小田原 隆

(東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野)

立川 夏夫

(横浜市立市民病院感染症内科)

- 129 新規抗HIV薬の使用経験と有害事象
塚田訓久¹⁾、青木孝弘¹⁾、田里大輔¹⁾、中村春香¹⁾、西島 健¹⁾、神村麻穂子¹⁾、柳沢邦雄¹⁾、渡辺恒二¹⁾、渡邊珠代¹⁾、田沼順子¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、本田美和子¹⁾、瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、立川夏夫^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
2) 横浜市立市民病院感染症内科

- 130 エプジコムを固定シエファビレンツとアタザナビル/リトナビルを無作為割り付けするオープンラベル多施設共同試験 (QD study) の結果報告

本田美和子

QD Study グループ

- 131 当院におけるアタザナビル使用473症例の検討

渡辺恒二、中村春香、青木孝弘、西島 健、田里大輔、柳沢邦雄、神村麻穂子、渡邊珠代、本田元人、塚田訓久、田沼順子、矢崎博久、本田美和子、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

- 132 Key drugをFPV(BID)とした抗HIV療法の効果と耐用性

坂部茂俊、豊嶋弘一、辻 幸太

山田赤十字病院内科

■日時：11月28日 (金) 15:00~16:00

■会場：第3会場 (さくら西)

O-33) 抗HIV療法4

座長 本田 美和子

(国立国際医療センター)

桑原 健

(国立病院機構京都病院長薬剤科)

- 133 当院での新規抗HIV薬の変遷とFPV投与者の経過について (続報)

矢崎博久、中村春香、青木孝弘、西島 健、田里大輔、柳沢邦雄、神村麻穂子、渡辺恒二、渡邊珠代、本田元人、田沼順子、塚田訓久、本田美和子、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

- 134 新しい1日1回HAART(ABC/3TC+FPV+RTV)の安全性・有用性に関する長期検討

斎田瑞恵、内藤俊夫、朴 宗晋、乾 啓洋、三橋和則、磯沼 弘

順天堂大学医学部総合診療科

- 135 ロピナビル・リトナビル (LPV/r) 一回投与ナイン8症例の使用経験

山中 晃、金子 恵

新宿東クリニック

- 136 ロピナビル・リトナビル (LPV/r) の1日2回から1日1回投与へのスイッチ試験

吉野宗宏¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、桑原 健²⁾、坂東裕基³⁾、小川吉彦³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、谷口智宏³⁾、笹川 淳³⁾、大谷成人³⁾、富成伸次郎³⁾、渡邊 大³⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科

2) 国立病院機構京都病院長薬剤科

3) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (金) 9:00~10:15

■会場：第4会場 (小ホール)

O-34) 複製

座長 高折 晃史

(京都大学医学研究科血液・腫瘍内科学)

梁 明秀

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

137 HIV-1のサル細胞における適応進化

野間口雅子、足立昭夫

徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野

138 サル細胞とヒト細胞で複製能への影響が異なるgag変異を有するSIV

堀場 聡、川田真幹、武内寛明、俣野哲朗

東京大学医科学研究所感染症国際研究センター

139 相互情報量解析によるHIV-1 CRF01_AE V3領域アミノ酸残基の共変異部位の同定

横山 勝、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

140 HIV-1ゲノム二量体化とウイルスゲノム組換えの厳密な相関

櫻木淳一、櫻木小百合、大石真久、塩田達雄

大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

141 HIV-1 Gag前駆体プロセシングのゲノム二量体化への影響

大石真久、塩田達雄、櫻木淳一

大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

■日時：11月28日 (金) 10:15~11:00

■会場：第4会場 (小ホール)

O-35) アクセサリー

座長 白川 康太郎

(京都大学医学研究科血液・腫瘍内科学)

増田 貴夫

(東京医科歯科大学歯学総合研究科免疫治療学分野)

142 HIV-1 NefのMHC-I発現抑制機能:AP-1A mu subunitとの相互作用と機能発現

飯島沙幸、李 永仲、明里宏文

医薬基盤研究所霊長類医学研究センター

143 The effects of CTL-escape conferring mutations on Nef's pathogenic functions in primary macrophages

Philip Mwimanzi、藤原 守、滝口雅文、上野 貴将

熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野

144 HIV-1 Vif は p53 依存的経路で感染細胞の細胞周期を G2/M 期に停止させる

泉 泰輔¹⁾、高折晃史¹⁾、白川康太郎^{1,2)}、

松井道志¹⁾、井尾克宏¹⁾、内山 卓¹⁾

1) 京都大学医学研究科血液・腫瘍内科

2) 財団法人エイズ予防財団

■日時：11月28日 (金) 11:00~11:45

■会場：第4会場 (小ホール)

O-36) ワクチン

座長 桑田 岳夫

(熊本大学大学院先端機構)

大橋 貴

(北海道大学遺伝子病制御研究所感染症態分野)

145 活性増強型TNF α 構造変異体の粘膜ワクチンアジュバントへの応用

鎌田春彦^{1,2,3)}、萱室裕之^{1,2)}、吉岡靖雄^{1,2,3)}、

形山和史⁴⁾、廣井隆親⁴⁾、阿部康弘^{1,2)}、角田慎一^{1,2,3)}、

堤 康史^{1,2,3)}

1) 医薬基盤研究所

2) 大阪大学薬学研究科

3) 大阪大学MEIセンター

4) 東京都臨床医学総合研究所

146 SIV Gag発現ワクシニアm8 Δ 株の免疫原性の検討

鈴木 元^{1,2)}、松尾和浩³⁾、山本直樹³⁾、大橋 貴¹⁾、

志田壽利¹⁾

1) 北海道大学遺伝子病制御研究所

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

147 heterologous SIV感染モデルによる多様性ウイルス感染を防御する宿主応答の解析

森 一泰¹⁾、杉本智恵²⁾、成瀬妙子³⁾、椎野禎一郎¹⁾、

武部 豊¹⁾、木村彰方³⁾、山本直樹¹⁾、永井美之⁴⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター

2) Tulane National Primate Research Center

3) 東京医科歯科大学難治疾患研究所

4) 理化学研究所感染症研究ネットワーク支援センター

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (金) 13:00~14:45

■会場：第4会場 (小ホール)

O-37) 免疫

座長 上野 貴将

(熊本大学エイズ学研究センター)

宮澤 正顯

(近畿大学医学部免疫学教室)

148 Killing of HIV-1-infected CD4⁺ T cells and macrophages by an HIV-1 Nef-specific CD4⁺ CTL

Zheng Nan¹⁾、藤原 守¹⁾、岡 慎一²⁾、
滝口雅文¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野
2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

149 抗原ペプチド複合体の内在的安定性はCTLの抗ウイルス活性に影響する

本園千尋、滝口雅文、上野 貴将

熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野

150 Gag特異的CTLクローンのSIV複製抑制能の解析

石井 洋¹⁾、塚本徹雄¹⁾、川田真幹¹⁾、武内寛明¹⁾、
明里宏文²⁾、上野貴将³⁾、滝口雅文³⁾、俣野哲朗¹⁾

1) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター
2) 医薬基盤研究所豊長類医科学研究センター
3) 熊本大学エイズ学研究センターウイルス制御分野

151 HIV患者の腸管粘膜における感染細胞とプロウイルスDNAの検索

松村次郎¹⁾、大脇敦子¹⁾、清水真澄¹⁾、近江恭子¹⁾、
秋山純一³⁾、本田元人²⁾、菊池 嘉²⁾、新谷英滋¹⁾、
岡 慎一²⁾、高橋秀実¹⁾

1) 日本医科大学微生物免疫学教室
2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
3) 国立国際医療センター消化器科

152 インターフェロンオメガ1によるHIV-1感染抑制機構の解析

篠田康彦¹⁾、鈴木陽一²⁾、田中勇悦³⁾、小柳義夫¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
2) 京都大学ウイルス研究所宿主要因解析チーム
3) 琉球大学医学研究科免疫学分野

153 HIV-1による単球の樹状細胞への分化阻害における血小板CD40Lの関与

児玉 晃、田中礼子、田中勇悦

琉球大学医学研究科免疫学分野

154 CD4 mimic small compoundのin vitro耐性誘導による結合部位の予測

吉村和久¹⁾、原田恵嘉¹⁾、畑田万紀子¹⁾、増野弘幸²⁾、
玉村啓和²⁾、松下修三¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野
2) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所機能分子部門分子認識分野

■日時：11月28日 (金) 14:45~15:30

■会場：第4会場 (小ホール)

O-38) 分子疫学

座長 三浦 智行

(京都大学ウイルス研究所)

杉浦 亙

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

155 日本におけるHIV-1感染症の最近動向：東関東地域における新知見

長谷彩希¹⁾、上西理恵¹⁾、廖 華南¹⁾、草川 茂¹⁾、
人見重美²⁾、武部 豊¹⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 筑波大学付属病院感染症科

156 Clinical profile and molecular epidemiology of HIV/AIDS patients in Jakarta, Indonesia

Ivo Sah Bandar^{1,2)}、高橋清実¹⁾、長縄 聡³⁾、
本村和嗣⁴⁾、佐藤裕徳⁴⁾、北村勝彦³⁾、佐藤成大¹⁾

1) 岩手医科大学医学部細菌学
2) Division of Tropical and Infectious Diseases, School of Medicine, University of Indonesia
3) 横浜市立大学情報システム予防医学
4) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

157 Spatial and temporal dynamics of the expansion of Asian HIV-1 circulating recombinant forms: a Bayesian coalescent strategy

Tee Kok Keng¹⁾、Liao Huanan¹⁾、Hase Saiki¹⁾、
Uenishi Rie¹⁾、Kusagawa Shigeru¹⁾、Pybus Oliver²⁾、
Takebe Yutaka¹⁾

1) National Institute of Infectious Diseases, AIDS Research Centre
2) Department of Zoology, University of Oxford

一般演題（口演）

■日時：11月28日（金）9：00～9：45

■会場：第5会場（会議室AB）

O-39）薬害HIV感染

座長 花井 十伍

（特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権）

井上 洋士

（放送大学）

158 2007年度までの血液凝固異常症全国調査に報告されたHIV感染血液凝固異常症におけるAIDS指標疾患と死亡例について

立浪 忍¹⁾、桑原理恵²⁾、浅原美恵子³⁾、三間屋純一⁴⁾、白幡 聡⁵⁾、瀧 正志⁶⁾

1) 聖マリアンナ医科大学医学統計

2) 聖マリアンナ医科大学アイソトープ研究施設

3) 聖マリアンナ医科大学小児科

4) 静岡県立こども病院血液腫瘍科

5) 産業医科大学小児科

6) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

159 薬害HIV感染被害者家族の支援ニーズの検討～母親の思いから～

大村佳代子¹⁾、九津見雅美¹⁾、伊藤美樹子¹⁾、山崎喜比古²⁾、井上洋士³⁾、溝田友里⁴⁾、清水由香⁵⁾、大平勝美⁶⁾、小山昇孝⁶⁾、後藤智己⁶⁾、森戸克則⁶⁾

1) 大阪大学医学系研究科総合ヘルスプロモーション科学学科

2) 東京大学医学系研究科

3) 放送大学

4) 国立がんセンター

5) 大阪市立大学生活科学科

6) 薬害HIV感染被害者（患者・家族）生活実態調査委員会

160 薬害HIV感染被害患者とその妻への告知の状況

九津見雅美¹⁾、大村佳代子¹⁾、伊藤美樹子¹⁾、山崎喜比古²⁾、井上洋士³⁾、溝田友里⁴⁾、大平勝美⁵⁾、小山昇孝⁵⁾、後藤智己⁵⁾、森戸克則⁵⁾

1) 大阪大学医学系研究科総合ヘルスプロモーション科学講座

2) 東京大学医学系研究科

3) 放送大学

4) 国立がんセンター

5) 薬害HIV感染被害者（患者・家族）生活実態調査委員会

■日時：11月28日（金）9：45～10：30

■会場：第5会場（会議室AB）

O-40）在日外国人

座長 高山 義浩

（佐久総合病院総合診療科）

樽井 正義

（慶應義塾大学文学部）

161 外国人HIV感染患者の現状と問題点：NPOの介入効果について

木田美保¹⁾、森尾志保¹⁾、上部真嗣²⁾、坂部茂俊³⁾、辻 幸太³⁾、竹田久子¹⁾、田中ゆう子¹⁾

1) 山田赤十字病院看護部

2) 山田赤十字病院社会事業部

3) 山田赤十字病院内科

162 在日外国人のHIV診療促進に関わる医療施設側の条件

仲尾唯治¹⁾、沢田貴志²⁾、樽井正義³⁾、李 祥任⁴⁾

1) 山梨学院大学経営情報学部

2) 港町診療所

3) 慶應義塾大学文学部

4) シェア＝国際保健協力市民の会

163 名古屋医療センターにおけるMSM外国籍患者動向

菊池恵美子^{1,2)}、内海 眞¹⁾、濱口元洋¹⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター

2) 財団法人エイズ予防財団

■日時：11月28日（金）10：30～11：30

■会場：第5会場（会議室AB）

O-41）社会：検査1

座長 川畑 拓也

（大阪府立公衆衛生研究所）

佐藤 未光

（ひかりクリニック／Rainbow Ring）

164 「HIV検査・相談室」サークルさっぽろにおける相談体制の検討—受検前後、検査結果受取後の相談の分析より—

大野稔子¹⁾、渡部恵子²⁾、最上いくみ³⁾、佐々木裕子³⁾、徳本栄子⁴⁾、尾谷ゆか⁵⁾

1) 北海道大学病院看護部

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 札幌医科大学付属病院

4) 北海道難病連

5) 北海道大学病院臨床心理士

一般演題（口演）

165 東京都多摩地域における土曜日即日検査の
来所者の動向について【第1報】

小日向弘雄^{1,2)}、大木幸子³⁾、佐藤未光^{4,5)}、
山田悦子⁶⁾、野原永子⁶⁾

- 1) 多摩地域検査・相談室
- 2) 多摩川病院
- 3) 杏林大学保健学部看護学科
- 4) ひかりクリニック
- 5) Rainbow Ring
- 6) 東京都福祉保健局健康安全部

166 かながわレインボーセンターにおけるHIV
即日検査事業

星野慎二^{1,2)}、井戸田一朗³⁾、広岡直^{1,2)}、
中澤よう子⁴⁾、佐野貴子⁵⁾、今井光信⁵⁾

- 1) 横浜Cruiseネットワーク
- 2) かながわレインボーセンター-SHIP
- 3) しらかば診療所
- 4) 神奈川県大和保健福祉事務所
- 5) 神奈川県衛生研究所

167 大阪・土曜日常設HIV検査事業における受
検者の動向（2007）

岳中美江^{1,2)}、榎本てる子¹⁾、岡部正子¹⁾、
岡本 学¹⁾、土居加寿子¹⁾、松浦基夫¹⁾、山中京子¹⁾、
藤山佳秀¹⁾、市川誠一³⁾

- 1) NPO法人チャーム
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) 名古屋市立大学看護学部

■日時：11月28日（金）11：30～12：15

■会場：第5会場（会議室AB）

O-42）社会：検査2

座長 井戸田 一朗

（しらかば診療所）

川口 竜助

（大阪府健康福祉部保健医療室）

168 慈恵医大病院におけるエイズ・性感染症の
匿名・無料検査

吉田正樹、河野真二、加藤哲朗、佐藤文哉、
堀野哲也、中澤 靖、吉川晃司、小野寺昭一
東京慈恵会医科大学感染制御部

169 長野県佐久総合病院における無料HIV迅速
検査普及の取り組み

向山由美、出浦喜文、岡田邦彦、鄭 真徳、
藤川祐子、高山義浩
佐久総合病院

170 市中クリニックにおけるHIV検査のニーズ
と受検者の背景

加藤朋子^{1,2)}、三木 猛¹⁾、村上太吾¹⁾、
井戸田一朗¹⁾

- 1) しらかば診療所
- 2) 昭和女子大学生活心理研究所

■日時：11月28日（金）9：00～10：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-43）副作用1

座長 有馬 靖佳

（田附興風会北野病院血液内科）

富成 伸次郎

（国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科）

171 外来通院HIV感染者における慢性腎臓病の
有病率

柳澤如樹¹⁾、安藤 稔²⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、
味澤 篤¹⁾

- 1) 東京都立駒込病院感染症科
- 2) 東京都立駒込病院腎臓内科

172 Tenofovir腎毒性の可逆性

木内 英、小島賢一、和田育子、石倉美緒、
花房秀次

荻窪病院血液科

173 HAART初回療法導入84症例における導入
後の脂質マーカーの変動について

中仙道亜弥¹⁾、上田敦久¹⁾、須田昭子¹⁾、安達理恵²⁾、
竹林早苗²⁾、小田みどり²⁾、松山奈央²⁾、沓名明子²⁾、
筑丸 寛³⁾、白井 輝⁴⁾、石ヶ坪良明¹⁾

- 1) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科
- 2) 横浜市立大学附属病院看護部
- 3) 横浜市立大学附属病院口腔外科
- 4) 横浜市立大学医学部看護学科

174 Backbone drug としてStavudine (d4T) より
他のNRTIに変更した場合の脂質マーカー
の変動について

須田昭子¹⁾、上田敦久¹⁾、中仙道亜弥¹⁾、安達理恵²⁾、
竹林早苗²⁾、小田みどり²⁾、松山奈央²⁾、沓名明子²⁾、
筑丸 寛³⁾、白井 輝⁴⁾、石ヶ坪良明¹⁾

- 1) 横浜市立大学リウマチ・血液・感染症内科
- 2) 横浜市立大学附属病院看護部
- 3) 横浜市立大学附属病院口腔外科
- 4) 横浜市立大学医学部看護科

一般演題 (口演)

■日時：11月28日 (金) 10:00~11:15

■会場：第6会場 (会議室CD)

O-44) 副作用2

座長 伊藤 俊広

(国立病院機構仙台医療センター内科)

渡邊 大

(国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科)

175 HAART施行中における脂質代謝異常の検討
奥村直哉¹⁾、平野 淳^{1,2)}、久高祐一^{1,2)}、
寺畑奈美¹⁾、高橋昌明^{1,2)}、横幕能行³⁾、間宮均人³⁾、
安岡 彰⁴⁾、濱口元洋⁵⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科

2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

3) 国立病院機構名古屋医療センター感染症科

4) 長崎大学医学部・歯学部附属病院感染制御教育センター

5) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ・感染症診療部

176 抗HIV剤の肝細胞,HCV感染肝細胞における
脂質代謝への影響

南 留美、高濱宗一郎、安藤 仁、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科臨床研究部

177 プロテアーゼ阻害剤が骨代謝に及ぼす影響
高濱宗一郎、南 留美、安藤 仁、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

178 硫酸アタナザビルによるビリルビン上昇に
対するウルソデオキシコール酸投与の効果
についての検討

前城達次、宮城京子、仲村秀太、原永修作、

比嘉 太、健山正男、藤田次郎

琉球大学医学部第一内科

179 HIV合併結核における抗結核薬の有害事象
についての検討

照屋勝治、西島 健、中村春香、田里大輔、

青木孝弘、渡辺恒二、柳沢邦雄、神村麻穂子、

渡邊珠代、塚田訓久、本田元人、矢崎博久、

田沼順子、本田美和子、瀧永博之、菊池 嘉、

岡 慎一

国立国際医療センター戸山病院

■日時：11月28日 (金) 13:00~14:00

■会場：第6会場 (会議室CD)

O-45) 医療体制1

座長 照屋 勝治

(国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター)

高田 清式

(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)

180 秋田県におけるエイズ診療の現状と課題
—秋田県内病院アンケート調査と秋田県
エイズ中核拠点病院事業—

高橋義博¹⁾、高田知恵子²⁾、滝本法明³⁾

1) 大館市立総合病院(秋田県エイズ中核拠点病院)小児科(HIV診療担当)

2) 秋田大学教育文化学部

3) 秋田県健康推進課

181 栃木県HIVネットワークの現状—中核拠点
病院選定とネットワーク会議の行政への
移譲

矢島悟子¹⁾、小池順子¹⁾、野澤寿美子¹⁾、関沢真人¹⁾、

外島正樹²⁾、一色ミュキ³⁾、岡本その子⁴⁾、

渡辺 博⁵⁾

1) 芳賀赤十字病院

2) 自治医科大学病院内科学講座血液学部門

3) 栃木県東健康福祉センター健康対策課

4) 栃木県健康福祉部健康増進課

5) 独協医科大学病院総合周産期母子医療センター

182 県内離島病院の診療体制構築に向けての出
張研修の成果

宮城京子¹⁾、健山正男²⁾、大城市子³⁾、石郷岡美穂⁴⁾、

松茂良揚子⁵⁾、諸見牧子⁵⁾、謝花万壽子¹⁾、

石川章子¹⁾、田里大輔²⁾、仲村秀太²⁾、前城達次²⁾、

原永修作²⁾、比嘉 太²⁾、藤田次郎²⁾

1) 琉球大学医学部附属病院看護師

2) 琉球大学医学部第一内科

3) 琉球大学医学部附属病院派遣カウンセラー

4) 琉球大学医学部附属病院ソーシャルワーカー

5) 琉球大学医学部附属病院薬剤師

183 HIV診療に係る原価の計算方法に関する研究
赤羽 学¹⁾、井出博生²⁾、今村知明¹⁾、白阪琢磨³⁾

1) 奈良県立医科大学健康政策医学講座

2) 東京大学医学部附属病院

3) 国立病院機構大阪医療センター

一般演題（口演）

■日時：11月28日（金）14：00～15：00

■会場：第6会場（会議室CD）

O-46）医療体制2

座長 健山 正男

（琉球大学医学研究科分子病態感染症学分野第一内科）

山本 政弘

（国立病院機構九州医療センター感染症対策室）

184 東京都立墨東病院におけるHIV患者の臨床的検討

中村 造、中村(内山)ふくみ、古宮伸洋、大西健児

東京都立墨東病院感染症科

185 当科外来通院患者の他科受診の現状

村松 崇、柳澤如樹、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤

東京都立駒込病院

186 高齢者のHIV初診患者の傾向について

宇野健司、後藤哲志、中村匡宏、片山智香子、豊島裕子、塩見正司

大阪市立総合医療センター感染症センター

187 診療支援としてのEメールの利用

古西 満¹⁾、善本英一郎^{1,2)}、森崎登志子³⁾、霧下由美子³⁾、植村典子⁴⁾、治田匡平⁴⁾、生駒貴世子⁴⁾、山岡正典⁵⁾、近池 操⁶⁾、阪田啓子⁶⁾

1) 奈良県立医科大学感染症センター

2) 奈良厚生会病院感染制御室

3) 奈良県立医科大学附属病院看護部

4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

5) 奈良県立医科大学附属病院医療サービス課

6) 奈良県派遣カウンセラー

■日時：11月28日（金）15：00～15：45

■会場：第6会場（会議室CD）

O-47）医療体制3

座長 上田 幹夫

（石川県立中央病院血液免疫内科）

森田 眞子

（国立病院機構大阪医療センター臨床心理室）

188 大阪医療センターにおけるHIV感染症患者の精神状態および保健行動に関する分析：第一報

安尾利彦¹⁾、早林綾子^{1,2)}、大谷ありさ¹⁾、森田眞子¹⁾、藤本恵里¹⁾、仲倉高広³⁾、下司有加⁴⁾、廣常秀人¹⁾、白阪琢磨⁵⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター精神神経科

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

4) 国立病院機構大阪医療センター看護部

5) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

189 大阪医療センターにおけるHIV感染症患者の精神状態と保健行動に関する分析 第二報

早林綾子^{1,2)}、安尾利彦³⁾、仲倉高広³⁾、大谷ありさ³⁾、森田眞子³⁾、藤本恵里³⁾、下司有加⁴⁾、白阪琢磨¹⁾、廣常秀人³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療センター

2) 財団法人エイズ予防財団

3) 国立病院機構大阪医療センター精神神経科

4) 国立病院機構大阪医療センター看護部

190 救急医療においてもHIV診療と研修医教育は重要である

小林千頭¹⁾、中村 朗²⁾、神戸敏行²⁾

1) 旭中央病院後期研修医

2) 旭中央病院内科

一般演題 (ポスター)

■日時：11月26日（水）
■発表：17：00～18：30
■会場：ポスター会場（アトリウム）

P-001 HIV-1 Pr55Gag のミリスチル基非依存性ウイルス粒子産生と感染性

青木 徹^{1,2)}、清水佐紀¹⁾、浦野恵美子^{1,4)}、
浜武牧子¹⁾、寺嶋一夫³⁾、玉村啓和²⁾、村上 努¹⁾、
森川裕子⁴⁾、山本直樹¹⁾、駒野 淳¹⁾

- 1) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 2) 東京医科歯科大学生体材料研究所
- 3) 東京医科歯科大学抱括病理学教室
- 4) 北里大学北里生命科学研究所

P-002 Incorporation of non-susceptible bystander cells into HIV-1 Syncytia

Hoque Sk Ariful、大上厚志、清水宣明、田中 淳、
大槻貴博、星野洪郎

群馬大学医学部

P-003 GB virus-C (GBV-C)感染は如何にしてHIV感染を抑制するか？：タイ北部ランパーン県コホート調査とin vitro感染実験による検討

森内昌子¹⁾、森内浩幸¹⁾、有吉紅也²⁾

- 1) 長崎大学医歯薬学総合研究科感染免疫学
- 2) 長崎大学熱帯医学研究所臨床医学部門

P-004 Hierarchical actions of HIV-1 Nef on Hck determine maturation arrest of cytokine receptor, Fms

Ranya Hassan、鈴 伸也、日吉真照、岡田誠治

熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野

P-005 Down-regulation of CD1 lipid/glycolipid antigen presentation by HIV-1 Nef in immature dendritic cells

新谷英滋、大脇敦子、清水真澄、渡邊恵理、
松村次郎、八木幸恵、高久千鶴乃、高橋秀実

日本医科大学微生物学・免疫学教室

P-006 A MOLECULAR MECHANISM BY WHICH TAT AFFECTS THE GROWTH OF TOMATO PLANTS

Marni Cueno¹⁾、唐松克夫^{2,3)}、保富康宏^{2,3)}、
Antonio Lauren⁴⁾、岡本 尚¹⁾

- 1) 名古屋市立大学医学研究科細胞分子生物学
- 2) 医薬基盤研究所豊長類医学研究センター
- 3) 三重大学医学研究科免疫制御分野
- 4) Biochemistry Laboratory, Institute of Plant Breeding, University of the Philippines Los Banos

P-007 グラム陰性嫌気性菌感染症によるクロマチン修飾を介する潜伏HIVの賦活化

今井健一、岡本 尚

名古屋市立大学医学研究科細胞分子生物学

P-008 SIV Gag CAのN domainの変異に対するC domainの代償性変異

稲垣奈都子、川田真幹、俣野哲朗

東京大学医科学研究所感染症国際研究センター

P-009 HIV-1 ゲノムRNAにおけるpoly (A) 付加部位に関する研究

柴田潤子^{1,2)}、岩谷靖雅¹⁾、任 鳳蓉²⁾、田中 博²⁾、
杉浦 亙¹⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 2) 東京医科歯科大学生命情報科学教育部

P-010 感染細胞内でHIVコンポーネントの自壊をもたらす機序の解明

天野将之¹⁾、関 康博¹⁾、田宮貞宏²⁾、満屋裕明^{1,3)}

- 1) 熊本大学医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部
- 2) 玉名中央病院内科
- 3) Experimental Retrovirology Section HIV and AIDS Malignancy Branch, National Cancer Institute, National Institutes of Health

P-011 HIV-1プロテアーゼにおける耐性変異L89Vの立体的影響

大出裕高¹⁾、横山 勝¹⁾、佐藤裕徳¹⁾、伊部史朗²⁾、
藤崎誠一郎²⁾、間宮均人²⁾、濱口元洋²⁾、杉浦 亙^{2,3)}、
横幕能行²⁾

- 1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

P-012 HIV-1薬剤耐性変異の感染者集団における固定/消失時間の解析

椎野禎一郎¹⁾、貞升健志²⁾、長島真美²⁾、杉浦 亙^{1,3)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

P-013 酵素活性を指標とした新規HIVプロテアーゼ薬剤耐性検査法の開発

正岡崇志¹⁾、梁 明秀¹⁾、巽 正志¹⁾、杉浦 亙^{1,2)}、
森下 了³⁾、澤崎達也⁴⁾、山本直樹¹⁾

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染免疫研究部
- 3) 株式会社セルフリーサイエンス
- 4) 愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター

一般演題 (ポスター)

- P-014 PCRとLC-MSを組み合わせた薬剤耐性変異定量法の検討
須藤弘二、加藤真吾
慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- P-015 小動物由来APOBEC1によるレトロウイルス複製阻害の解析
池田輝政^{1,2)}、原田信志²⁾、小糸 厚¹⁾
1) 熊本大学医学薬学研究部感染制御学
2) 熊本大学医学薬学研究部感染防御学
- P-016 HIV-1 VifによるAPOBEC3G分解阻害へのHsp70の効果
杉山隆一¹⁾、羽生勇一郎²⁾、長沼晴樹¹⁾、小関 寛¹⁾、永田 崇³⁾、古川亜矢子³⁾、片平正人³⁾、高久 洋^{1,2)}
1) 千葉工業大学工学研究科生命環境科学専攻
2) 千葉工業大学ハイテクリサーチセンター
3) 横浜市立大学大学院国際総合科学研究科
- P-017 分子モデリングによるリン酸化APOBEC3Gの構造解析
横山 勝¹⁾、白川康太郎^{2,3)}、高折晃史²⁾、佐藤裕徳¹⁾
1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
2) 京都大学医学研究科血液・腫瘍内科
3) 財団法人エイズ予防財団
- P-018 ドメイン欠失TRIM5alpha変異体によるTRIM5alphaのHIV-1抵抗性の解除
前川彦一郎、中山英美、黒石 歩、塩田達雄
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野
- P-019 HIV-1蛋白質とイノシトールリン酸との結合解析
藤田美歌子¹⁾、安楽健作²⁾、福田亮太¹⁾、大塚雅巳¹⁾
1) 熊本大学医学薬学研究部生体機能分子合成学分野
2) 熊本保健科学大学保健科学部衛生技術学科
- P-020 MAPK様キナーゼNLKによるHIV転写を負に制御する調節機構について
金澤 智、岡本 尚
名古屋市立大学医学研究科細胞分子生物学
- P-021 宿主由来タンパクOX40L、OX40のHIV-1感染に与える影響
高橋良明¹⁾、村上 努¹⁾、駒野 淳¹⁾、吉田篤司²⁾、田中礼子³⁾、山本直樹¹⁾、田中勇悦³⁾
1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 横浜市立大学医学部分子生体防御学
3) 琉球大学医学研究科免疫学分野
- P-022 Inhibition of HIV-1 replication by the co-chaperone DNA J/HSP40 protein family
浦野恵美子^{1,2)}、奥長浩之²⁾、森川裕子²⁾、山本直樹¹⁾、駒野 淳¹⁾
1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 北里大学感染制御科学府分子ウイルス学
- P-023 レンチウイルスベクターを用いた抗HIV因子のスクリーニングとその解析
小林朋子¹⁾、芳田 剛¹⁾、駒野 淳²⁾、小柳義夫¹⁾
1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- P-024 ロピナビル・リトナビル配合剤のトラフ値と脂質系への影響及びテノホビル血中濃度との相関に関する検討
矢倉裕輝¹⁾、吉野宗宏¹⁾、坂東裕基²⁾、小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、谷口智宏²⁾、大谷成人²⁾、富成伸次郎²⁾、渡邊 大²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾、栗原 健³⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科
2) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科
3) 国立病院機構南京都病院薬剤科
- P-025 LC-MSによるインテグラーゼ阻害剤ラルテグラビルの血中濃度測定法の開発
高橋昌明¹⁾、古西 満²⁾、久高祐一¹⁾、奥村直哉¹⁾、平野 淳¹⁾、寺畑奈美³⁾、坂野和英³⁾、金田次弘⁴⁾
1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科/臨床研究センター
2) 奈良県立医科大学感染症センター
3) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科
4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- P-026 ラルテグラビルを含むサルベージ療法を行った1例
治田匡平¹⁾、植村典子¹⁾、生駒貴世子¹⁾、森田幸子¹⁾、北 啓二¹⁾、宇野雅之¹⁾、古西 満²⁾、米川真輔²⁾、中川智代²⁾、小川 拓²⁾、笠原 敬²⁾、前田光一²⁾、三笠桂一²⁾、宇野健司^{2,3)}、善本英一郎^{2,4)}、高橋昌明^{5,6)}、久高祐一^{5,6)}
1) 奈良県立医科大学附属病院薬剤科
2) 奈良県立医科大学感染症センター
3) 大阪市立総合医療センター感染症センター
4) 奈良厚生会病院感染制御室
5) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科
6) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

一般演題 (ポスター)

P-027 服薬援助のための基礎的調査—抗HIV薬の薬剤変更状況調査(2008年)—

小島賢一¹⁾、金子 恵³⁾、栗原 健⁴⁾、日笠 聡⁴⁾、堀 成美²⁾、山元 泰之³⁾

- 1) 荻窪病院血液科
- 2) 東京都立駒込病院感染症科
- 3) 東京HIV診療ネットワーク
- 4) 関西HIV臨床カンファレンス

P-028 服薬援助のための基礎的調査—抗HIV薬の組合せ調査(2008年)—

日笠 聡¹⁾、栗原 健¹⁾、小島賢一²⁾、堀 成美³⁾、金子 恵²⁾、山元泰之²⁾

- 1) 関西HIV臨床カンファレンス
- 2) 東京HIV診療ネットワーク
- 3) HIV/AIDS看護学会

P-029 拠点病院における抗HIV療法と薬剤関連アンケート調査結果(第5報)

栗原 健¹⁾、吉野宗宏²⁾、佐野俊彦³⁾、小島賢一⁴⁾、日笠 聡⁵⁾、白阪琢磨⁶⁾

- 1) 国立病院機構京都病院薬剤科
- 2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科
- 3) 東京都立駒込病院薬剤科
- 4) 荻窪病院血液科
- 5) 兵庫医科大学病院血液内科
- 6) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

P-030 横浜市立市民病院におけるHAART療法の現状

五十嵐俊^{1,6)}、伏見友二¹⁾、飛田始喜恵¹⁾、吉村幸浩²⁾、倉井華子²⁾、立川夏夫²⁾、相楽裕子²⁾、高尾 良洋¹⁾

- 1) 横浜市立市民病院薬剤部
- 2) 横浜市立市民病院感染症部
- 3) 横浜市立市民病院検査部
- 4) 横浜市立市民病院管理部業務課
- 5) 横浜市立市民病院看護部
- 6) 横浜市立市民病院安全管理室

P-031 県内にブロック拠点病院をもつ地域拠点病院の抗HIV療法の現状

石橋幹雄、酒井義朗、有馬千代子、久保裕子、鶴田美恵子、永田見生

久留米大学病院薬剤部

P-032 薬剤師による相互作用を回避した症例—リファンピシンとAtovaquoneの相互作用—

千田昌之¹⁾、増田純一¹⁾、渡辺恒二²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一¹⁾、三上二郎¹⁾

- 1) 国立国際医療センター戸山病院薬剤部
- 2) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

P-033 市立堺病院におけるART導入時の薬剤師の関わり

宇高 歩¹⁾、松浦基夫²⁾、大成功一³⁾、澤田恵美³⁾、三田洋子³⁾、桑原三千代³⁾、嶋あずさ⁴⁾

- 1) 市立堺病院薬剤科
- 2) 市立堺病院腎・代謝内科
- 3) 市立堺病院呼吸器内科
- 4) 市立堺病院看護局

P-034 院外処方を発行するにあたり開催した保険薬局薬剤師を対象とするHIV勉強会の意義

瀬戸弘和、萩原幸夫、井上正久、長 剛広、剣持和弘、木村克彦、植松 清

市立伊東市民病院薬剤室

P-035 唾液で検査可能なHIV迅速検査試薬の検討

佐野(嶋)貴子¹⁾、山中 晃²⁾、金子 恵²⁾、井戸田一朗³⁾、平井由児⁴⁾、岩室紳也⁵⁾、須藤弘二⁵⁾、近藤真規子¹⁾、今井光信¹⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所
- 2) 新宿東口クリニック
- 3) しらかば診療所
- 4) 東京女子医科大学
- 5) 厚木市立病院

P-036 第4世代スクリーニング検査における問題症例

関 義信¹⁾、菅澤明美²⁾、小林 進³⁾、高橋晴代²⁾、成田清子²⁾、高岡勝利²⁾、桑原武夫⁴⁾

- 1) 新潟県立新発田病院内科
- 2) 新潟県立新発田病院看護部
- 3) 新潟県立新発田病院臨床検査科
- 4) 新潟県立新発田病院神経内科

P-037 当院過去14年間ににおけるOpt-out型入院時HIVスクリーニング検査の検討

蔵本浩一、中村 朗、神戸敏行

国保旭中央病院内科

P-038 HIV郵送検査に関する実態調査および検査精度の調査

須藤弘二^{1,2)}、佐野貴子¹⁾、近藤真規子¹⁾、加藤真吾²⁾、今井光信¹⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

一般演題 (ポスター)

- P-039 当院においてAmplicor法からTaqMan法へ変更したことによるHIV-RNAコピー数増加に関する検討
樽本憲人、阿部良伸、山口敏行、前崎繁文
埼玉医科大学感染症科・感染制御科
- P-040 リアルタイムPCR法 (TaqMan法) を用いた唾液中HIV-1 RNA/DNA量と血清中HIV-1RNA量の比較検討
池野 良¹⁾、高木律男¹⁾、児玉泰光¹⁾、田邊嘉也²⁾、手塚貴文²⁾、佐藤みさ子³⁾、加藤真吾⁴⁾
1) 新潟大学歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野
2) 新潟大学歯学総合病院第二内科
3) 新潟大学歯学総合病院感染管理部
4) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- P-041 正しい血中ウイルス量を求める方法の検討
加藤真吾、榎本 茜、田中理恵
慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- P-042 BED assay を使用した東京都内保健所等におけるHIV検査陽性例の血清学的解析
長島真美、新開敬行、尾形和恵、原田幸子、貞升健志、仲真晶子、矢野一好
東京都健康安全研究センター微生物部
- P-043 HIV感染者における性的指向別・年代別HIV検査パターンの比較
高野 操¹⁾、岡田昌史²⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾、我妻ゆき子²⁾
1) 国立国際医療センター戸山病院
2) 筑波大学人間総合科学研究科疫学分野
- P-044 HIV感染判明時の告知の内容についての検討
立川夏夫、倉井華子、吉村幸治
横浜市立市民病院
- P-045 2005～2008年の東京都内保健所等HIV検査陽性例の薬剤耐性変異の解析
貞升健志、長島真美、新開敬行、尾形和恵、原田幸子、仲真晶子、矢野 一好
東京都健康安全研究センター微生物部
- P-046 NON B-SUBTYPE HIV-1 DRUG-RESISTANCE MUTATIONS AMONG VERTICALLY-INFECTED CHILDREN ON ART
Lihana Raphael W.、Rwembe Raphael、石崎有澄美、松下香織、宮下宙子、景山誠二、市村 宏
金沢大学医学系研究科ウイルス感染症制御学分野
- P-047 ベトナム国ハイフォン市における薬剤耐性HIV-1
石崎有澄美¹⁾、田沼順子²⁾、石垣今日子²⁾、Phan T.T. Chung¹⁾、Lihana R.W.¹⁾、Lwembe R.M.¹⁾、松下香織¹⁾、宮下宙子¹⁾、景山誠二¹⁾、西條清史¹⁾、市村 宏¹⁾
1) 金沢大学医学系研究科
2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- P-048 コンピューターによる薬剤耐性HIV-1に対する薬効予測の試み
星野忠次¹⁾、辰巳絢子¹⁾、篠原祐子¹⁾、大出裕高²⁾、杉浦 亙^{2,3)}
1) 千葉大学薬学研究院
2) 国立感染症研究所
3) 国立病院機構名古屋医療センター
- P-049 HAARTを施行したHIV/HBV重複感染者13例の解析
鯉淵智彦、中村仁美、菊地 正、前田卓哉、遠藤宗臣、藤井 毅、小田原隆、岩本愛吉
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- P-050 HIV・HBV重複感染の一例
芦野有悟、齋藤弘樹、服部俊夫
東北大学病院感染症科
- P-051 B型肝炎急性増悪に対し、TVD/EFVによるHAARTが奏功したHIV/HBV重複感染の一例
小谷岳春¹⁾、青木 剛¹⁾、上田幹夫¹⁾、山田三枝子²⁾
1) 石川県立中央病院血液免疫内科
2) 石川県立中央病院/財団法人エイズ予防財団
- P-052 HAART療法普及前の北タイにおいてHIV/HBV・HCV重複感染が生存率に与えた影響についての研究
土屋菜歩¹⁾、Panita Pathipvanich²⁾、Archawin Rojanawit³⁾、Pathom Sanwayanwalert³⁾、有吉紅也¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所感染症予防治療分野
2) ランパーン病院デイケアセンター
3) タイ国立衛生研究所

一般演題 (ポスター)

P-053 ロピナビル・リトナビル配合剤の初回治療における有効性及び安全性に関する剤型間の比較検討

矢倉裕輝¹⁾、吉野宗宏¹⁾、柴原 健²⁾、坂東裕基³⁾、小川吉彦³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、谷口智宏³⁾、大谷成人³⁾、富成伸次郎³⁾、渡邊 大³⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構京都病棟薬剤科
- 3) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

P-054 TDF服用後の腎機能悪化症例に対するABCの使用成績

寺畑奈美、奥村直哉、平野 淳、久高祐一、高橋昌明

国立病院機構名古屋医療センター薬剤科

P-055 当院におけるテノホビルから他剤への変更症例についての検討

町田修一¹⁾、四本美保子²⁾、増淵 雄³⁾、中澤一純¹⁾

- 1) 長野赤十字病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 3) 長野赤十字病院感染症内科

P-056 HAART施行中に消化管合併症を呈した高齢陽性者におけるダルナビルの使用経験

藤川祐子¹⁾、高山義浩¹⁾、西島 健²⁾、鄭 真徳¹⁾、岡田邦彦¹⁾

- 1) 佐久総合病院総合診療科
- 2) 国立国際医療センター エイズ治療・開発センター

P-057 アドヒアランス向上とウィルス量減少を目的としたダルナビル投与の一症例

森下和美¹⁾、野毛一郎¹⁾、吉田康秀²⁾

- 1) 沼津市立病院薬剤部
- 2) 沼津市立病院呼吸器内科

P-058 Enfuvirtide(T-20)+raltegravir(RAL)+darunavir(DRV)+etravirine(TMC125)+lamivudine(3TC)の多剤高度耐性HIV-1感染症に対する治療効果

横幕能行¹⁾、大出裕高³⁾、間宮均人¹⁾、濱口元洋¹⁾、伊部史郎²⁾、藤崎誠一郎²⁾、藤崎彩恵子²⁾、金田次弘²⁾、杉浦 亙^{2,3)}

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 3) 国立感染症研究所

P-059 HIV感染症患者の入院治療の臨床的検討

富成伸次郎、矢嶋敬史郎、谷口智宏、渡邊 大、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

P-060 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状と推移

白阪琢磨¹⁾、日笠 聡²⁾、岡 慎一³⁾、川戸美由紀⁴⁾、吉崎和幸⁵⁾、木村 哲⁶⁾、福武勝幸⁷⁾、橋本修二⁴⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
- 4) 藤田保健衛生大学医学部 衛生学
- 5) 大阪大学保健センター
- 6) 東京通信病院
- 7) 東京医科大学臨床検査医学

P-061 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第2報 抗HIV薬の組み合わせの変更とCD4値、HIV-RNA量の関連性

川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、岡 慎一²⁾、吉崎和幸³⁾、木村 哲⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、日笠 聡⁶⁾、白阪琢磨⁷⁾

- 1) 藤田保健衛生大学医学部衛生学
- 2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 3) 大阪大学保健センター
- 4) 東京通信病院
- 5) 東京医科大学臨床検査医学
- 6) 兵庫医科大学血液内科
- 7) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療センター

P-062 薬剤耐性ウイルス出現時にITPの再燃を来したHIV感染症の1例

小野澤真弘、岡田耕平、守田玲菜、高畑むつみ、加畑 馨、橋野 聡、浅香正博

北海道大学病院第三内科

P-063 当院における急性HIV感染症の経験例

鶴見 寿^{1,2)}、後藤尚絵¹⁾、原 武志¹⁾、笠原千嗣^{1,2)}、兼村信宏¹⁾、鶴見広美²⁾、森脇久隆³⁾

- 1) 岐阜大学医学部血液感染症内科
- 2) 岐阜大学医学部エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部消化器内科

P-064 早期からARTをおこない、改善した汎血球減少症の2例

豊嶋弘一、坂部茂俊、辻 幸太

山田赤十字病院内科

一般演題 (ポスター)

- P-065 日本および欧米先進諸国における性感染症の現状と日本の課題
小堀栄子^{1,2)}、西村由実子^{1,2)}、森重裕子^{1,2)}、Pilar Watanabe Suguimoto¹⁾、Panday Bhagabati¹⁾、木原 雅子¹⁾、木原正博¹⁾
1) 京都大学医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野
2) 財団法人エイズ予防財団
- P-066 献血を機に当院を受診しHIV感染症と診断された症例の検討
白阪琢磨^{1,2)}、下司有加^{1,4)}、織田幸子^{1,4)}、古金秀樹^{1,5)}、上平朝子^{1,3)}
1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 臨床研究センターエイズ先端医療研究部
3) 免疫感染症科
4) 看護部
5) 財団法人エイズ予防財団
- P-067 当センターにおけるBEDアッセイを用いた2003年と2007年以降の新規患者の解析
林田庸総^{1,2)}、湯永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
2) 熊本大学エイズ学研究中心
- P-068 日本人成人異性愛男性における性娯楽サービス利用時のコンドーム使用
徐 淑子¹⁾、東 優子²⁾、野坂祐子³⁾、内海千種⁴⁾、勝又沙織⁵⁾
1) 新潟県立看護大学
2) 大阪府立大学
3) 大阪教育大学
4) 徳島大学
5) 順天堂大学
- P-069 ピアエデュケーションの方法論確立にむけた取り組み
佐藤文寛¹⁾、竹ノ下理恵¹⁾、清水誓子²⁾、大野聖子³⁾
1) 赤十字京都ユース(RCY)
2) 関西セクシャルヘルス・ユースネットワーク
3) 京都第一赤十字病院
- P-070 高校生を対象としたゲーム方式によるHIV感染予防教育の実践と評価 (第2報): 感染リスクの理解と行動選択に関する分析
廣岡憲造¹⁾、前川 勲²⁾、吉澤弘道²⁾、大久保洋子²⁾、大坂英治²⁾
1) 旭川大学保健福祉学部保健看護学科
2) 旭川WITH-HIV/AIDSとの共生を目指す市民の会
- P-071 8年目を迎えた高校生エイズ・ピア・エデュケーションが目指す「予防啓発」活動とは
平野智之^{1,2)}、大北全俊³⁾、横田恵子⁴⁾
1) 大阪府立松原高等学校
2) 神戸大学人間発達環境学研究所
3) 大阪大学医学系研究科
4) 神戸女学院大学文学部
- P-072 山大エイズカフェにおけるHIV/STI予防介入に対するegogramと計画的行動理論を用いた評価
川畑奈菜恵¹⁾、山田 治¹⁾、三砂恵理¹⁾、徳久義治²⁾
1) 山口大学医学部保健学科
2) 山口済生会病院
- P-073 深夜に行ったロックコンサート参加者に対する性感染症防止と性行動調査
徳久義治¹⁾、波多江百百子²⁾、東森 啓³⁾、山田 治⁴⁾
1) 済生会山口総合病院
2) 京都大学医学部付属病院
3) 大阪厚生年金病院
4) 山口大学医学系研究科
- P-074 これからの予防啓発モデル
ちょふ(十)、谷口 恭
NPO法人GINA
- P-075 地方自治体とNPOの連携によるHIV対策事例報告
嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、飯塚信吾¹⁾、鳩貝啓美¹⁾、河口和也²⁾
1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン
2) 広島修道大学
- P-076 地方自治体とNPOの連携による予防啓発—「行政-NPO連携」モデル—
嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、宮近敬三¹⁾、鳩貝啓美¹⁾、河口和也²⁾
1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン
2) 広島修道大学
- P-077 「HIV陽性者やその周囲の人への相談サービス」についての動向
福原寿弥¹⁾、牧原信也¹⁾、大槻知子²⁾、生島 嗣¹⁾、池上千寿子¹⁾
1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
2) 財団法人エイズ予防財団

一般演題 (ポスター)

P-078 HIV陽性者向け冊子『たんぼぼ』の作成について～東京都とNGOの協働作業とその考察～

山田悦子¹⁾、大木幸子²⁾、生島 嗣³⁾、矢島 嵩³⁾、佐藤郁夫³⁾、加納啓善⁴⁾、野原永子¹⁾

- 1) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係
- 2) 杏林大学
- 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 4) デザイナー

P-079 高知県のHIV感染者/AIDS患者の就労状況～面接調査からみえてきたこと～

中澤知早子¹⁾、藤村洋子¹⁾、見元 尚³⁾、武内世生⁴⁾

- 1) 高知大学医学部附属病院地域医療連携室
- 2) 高知大学医学部附属病院看護部
- 3) 高知大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 高知大学医学部附属病院総合診療部

■日時：11月27日 (木)

■発表：17：00～18：30

■会場：ポスター会場 (アトリウム)

P-080 強いHIV-1増殖抑制能を有するHLA-Cw*1202拘束性細胞傷害性T細胞の解析

本田一貴¹⁾、赤星智寛¹⁾、岡 慎一²⁾、滝口雅文¹⁾

- 1) 熊本大学エイズ学研究中心ウイルス制御分野
- 2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

P-081 Env特異的CTLのHIV-1感染細胞に対する細胞傷害活性の解析

下川周子、小泉寛和、藤原 守、上野貴将、滝口雅文

熊本大学エイズ学研究中心ウイルス制御分野

P-082 日本人集団においてHLA多型性が慢性感染期血中HIV-1ウイルス量に与える影響の解析

古賀道子、立川(川名)愛、小田原隆、岩本愛吉

東京大学医科学研究所先端医療センター感染症分野

P-083 V2領域のN-glycosylation site挿入が抗V3中和抗体エスケープに及ぼす影響

畑田万紀子、吉村和久、石川哲也、原田恵嘉、松下修三

熊本大学エイズ学研究中心病態制御分野

P-084 中和抗体高感受性R5臨床分離株の抗V3抗体によるin vitro中和逃避ウイルス誘導

榎原知里、吉村和久、畑田万紀子、原田恵嘉、松下修三

熊本大学エイズ学研究中心病態制御分野

P-085 樹状細胞とNKT細胞の相互作用によるHIV-1感染拡大の可能性

高久千鶴乃、渡邊絵理、大脇敦子、清水真澄、松村次郎、渡理英二、新谷英滋、高橋秀実

日本医科大学微生物免疫学教室

P-086 Nef蛋白質発現に伴うマクロファージの自然免疫機能異常に関する解析

水越文徳、山本拓也、寺原和孝、光木裕也、小林和夫、横田(恒次)恭子

国立感染症研究所免疫部第一室

一般演題 (ポスター)

- P-087 HIV-1 GagVLPs inhibit HIV-1 replication in dendritic cells via activation of dendritic cells and induction of IFN- α secretion
Chang Myint Oo¹⁾、鈴木友幸²⁾、高久 洋^{1,2)}
1) 千葉工業大学ハイテクリサーチセンター
2) 千葉工業大学生命環境科学
- P-088 抗アデノウイルス抗体誘導マウスにおけるヘキソン改変型アデノベクターによる免疫誘導能の解析
井野麻美、阿部晋也、浦 剛博、吉崎慎二、吉田篤司、島田 勝、奥田研爾
横浜市立大学医学部分子生体防御学教室
- P-089 HIV-1 Rev-derived peptideはRevとCXCR4のdual-target inhibitorとして作用する
嶋根和毅、児玉栄一、松岡雅雄
京都大学ウイルス研究所ウイルス制御研究領域
- P-090 RNA分解酵素・MazFがHIV LTR領域の支配下で発現するレトロウイルスベクター導入細胞におけるHIV-1抵抗性の獲得
岡本実佳¹⁾、馬場昌範¹⁾、蝶野英人²⁾、加藤郁之進²⁾
1) 鹿児島大学歯学総合研究科難治ウイルス病態制御研究センター
2) タカラバイオ株式会社バイオ研
- P-091 HIVプロテアーゼ周辺の水分子を標的としたアロフェニルノルスタチン型阻害剤の設計
日高興士、香月紀子、木村 徹、木曾良明
京都薬科大学薬品化学分野21世紀COEプログラム
- P-092 R5 HIV-1感染細胞を標的とし感染を制御する組換えウイルスVSV
大隈 和、田中礼子、田中勇悦
琉球大学医学部医学科地域環境医学講座免疫学分野
- P-093 hu-PBMC-NOD/SCID/Jak-3-KOマウスを用いた核酸系逆転写酵素阻害剤、4'-Ethylnyl-2-Fluoro-2'-Deoxyadenosineによる抗HIV-1効果の検討
服部真一郎¹⁾、井出一彦²⁾、中田浩智^{2,3)}、原田英樹¹⁾、鈴 伸也¹⁾、向後 悟⁴⁾、芦田則之⁴⁾、早川弘之⁴⁾、満屋裕明^{2,3)}、岡田誠治¹⁾
1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) 熊本大学医学薬学研究部
3) National Cancer Institute, National Institutes of Health
4) ヤマサ醤油株式会社医薬・化成事業部
- P-094 HIV-1変異株産生を回避するDNAzyme発現ベクターの構築とその長期抗HIV-1活性
早船正哲¹⁾、楠 秋子¹⁾、毛利友香¹⁾、羽生勇一郎²⁾、高久 洋^{1,2)}
1) 千葉工業大学工学研究科生命環境科学専攻
2) 千葉工業大学ハイテクリサーチセンター
- P-095 エイズ関連リンパ腫およびエイズ剖検例の各臓器における多種類ウイルスの定量
片野晴隆、佐多徹太郎
国立感染症研究所感染病理部
- P-096 SHIV感染実験への数理モデルによるアプローチ
岩見真吾¹⁾、竹内康博¹⁾、三浦智行²⁾
1) 静岡大学創造科学技術大学院
2) 京都大学ウイルス研究所感染症モデル研究センター・霊長類モデル研究領域
- P-097 HIV-1由来のpol遺伝子を持つSHIV-prtiのアカゲザルin vivo継代による感染増殖能の増加
井戸栄治¹⁾、石松美沙¹⁾、三浦智行²⁾、多田哲子¹⁾、多田秀子¹⁾、伊吹謙太郎³⁾
1) 京都大学ウイルス研究所・新興ウイルス感染症研究センター
2) 京都大学ウイルス研究所・感染症モデル研究センター
3) 京都大学・医学研究科・人間健康科学系専攻
- P-098 サル/エイズモデルにおけるHAART療法の確立に向けて
堀池麻里子¹⁾、松山めぐみ¹⁾、佐藤彰彦²⁾、松田健太¹⁾、深澤嘉伯¹⁾、稲葉一寿¹⁾、三浦智行¹⁾、五十嵐樹彦¹⁾
1) 京都大学ウイルス研究所附属感染症モデル研究センター・霊長類モデル研究領域
2) 塩野義製薬創薬研究所
- P-099 HIV-1 タイB' 型ウイルス起源と分子特徴研究
楊 榮閣
中国科学院武漢ウイルス研究所エイズ研究グループ
- P-100 抗レトロウイルス治療中のガーナ人HIV感染者における血中ウイルス量の解析
山岡昇司¹⁾、山本 典生²⁾
1) 東京医科歯科大学歯学総合研究科ウイルス制御学
2) 順天堂大学医学部総合診療科

一般演題 (ポスター)

- P-101** 2003-2007年の新規HIV-1感染者における薬剤耐性頻度の動向
杉浦 亙^{1,13)}、渦永博之²⁾、吉田 繁³⁾、千葉仁志³⁾、小池隆夫³⁾、伊藤俊広⁴⁾、原 孝⁵⁾、佐藤武幸⁶⁾、石ヶ坪良明⁷⁾、上田敦久⁷⁾、近藤真規子⁸⁾、今井光信⁸⁾、貞升健志⁹⁾、長島真美⁹⁾、福武勝幸¹⁰⁾、山元泰之¹⁰⁾、田中理恵¹¹⁾、加藤信吾¹¹⁾、宮崎菜穂子^{1,12)}、藤井 毅¹²⁾、岩本愛吉¹²⁾、藤野真之¹⁾、仲宗根正¹⁾、巽 正志¹⁾、椎野禎一郎¹⁾、岡 慎一²⁾、林田庸総²⁾、服部純子¹³⁾、伊部史朗¹³⁾、藤崎誠一郎¹³⁾、金田次弘¹³⁾、浜口元洋¹³⁾、上田幹夫¹⁴⁾、大家正義¹⁵⁾、田邊嘉也¹⁵⁾、渡辺香奈子¹⁶⁾、渡邊 大¹⁷⁾、白阪琢磨¹⁷⁾、栗原 健¹⁸⁾、森 治代¹⁹⁾、小島洋子¹⁹⁾、高田 昇²⁰⁾、木村昭郎²⁰⁾、南 留美²¹⁾、山本政弘²¹⁾、松下修三²²⁾、健山正男²³⁾、藤田次郎²³⁾
1) 国立感染症研究所
2) 国立国際医療センター
3) 北海道大学
4) 国立病院機構仙台医療センター
5) 茨城県衛生研究所
6) 千葉大学
7) 横浜市立大学
8) 神奈川県衛生研究所
9) 東京都健康安全研究センター
10) 東京医科大学
11) 慶応義塾大学
12) 東京大学医科学研究所
13) 国立病院機構名古屋医療センター
14) 石川県立中央病院
15) 新潟大学
16) 新潟県保健環境科学研究所
17) 国立病院機構大阪医療センター
18) 国立病院機構京都病院
19) 大阪府立公衆衛生研究所
20) 広島大学
21) 国立病院機構九州医療センター
22) 熊本大学
23) 琉球大学
- P-102** HIV/AIDS患者の思いと今後の病棟看護の課題
中居映津子、佐藤早美、高田幸子
群馬大学医学部附属病院
- P-103** 冬期間の生活支援—服薬が継続できるために—
伊藤和子
山形県立中央病院看護部
- P-104** セルフケア支援における患者-看護師関係
岡本智恵¹⁾、井原国代¹⁾、木村真知子²⁾
1) 熊本大学医学部附属病院看護部西病棟11階
2) 熊本大学医学部附属病院看護外来
- P-105** 滋賀県HIV/AIDS拠点病院における看護師の挑戦～脳原発悪性リンパ腫の入院症例を通して～
美濃亜朱、美濃正臣、延 綾子、川根伸夫
滋賀医科大学医学部附属病院
- P-106** 初めてエイズ患者のプライマリナースとして関わる看護師の反応
井上有子¹⁾、井原国代¹⁾、木村真知子²⁾
1) 熊本大学医学部附属病院看護部
2) 熊本大学医学部附属病院看護部看護外来
- P-107** HIV感染症患者の初診から5年間の療養経過に関する実態調査 第1報 ～治療・受診状況～
荒井理那^{1,2)}、伊藤 紅^{1,2)}、池田和子¹⁾、大金美和¹⁾、武田謙治¹⁾、山田由紀¹⁾、杉野祐子¹⁾、石垣今日子¹⁾、八楯類子^{1,2)}、島田 恵¹⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療センター戸山病院
2) 財団法人エイズ予防財団
- P-108** HIV感染症患者の初診から5年間の療養経過に関する実態調査～社会資源の活用及び地域との連携～
伊藤 紅¹⁾、荒井理那^{1,2)}、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、大金美和¹⁾、武田謙治¹⁾、山田由紀¹⁾、杉野祐子¹⁾、石垣今日子¹⁾、八楯類子^{1,2)}
1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
2) 財団法人エイズ予防財団
- P-109** 名古屋医療センターにおける5年間の患者動向と今後の課題
奥村かおる、山田由美子、濱口元洋
国立病院機構名古屋医療センター
- P-110** エイズ診療拠点病院におけるHIV感染症歯科診療実態調査
中川裕美子¹⁾、前田憲昭³⁾、田上 正⁴⁾、島田泰如⁴⁾、岡 慎一¹⁾
1) 国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター
2) 財団法人エイズ予防財団
3) 医療法人社団皓歯会
4) 国立国際医療センター戸山病院歯科口腔外科
- P-111** エイズ中核拠点病院のあり方と一般歯科診療所の役割 ～症例を通して～
千葉 緑¹⁾、茂木伸夫¹⁾、味澤 篤²⁾
1) 東京都立駒込病院歯科口腔外科
2) 東京都立駒込病院感染症科

一般演題 (ポスター)

- P-112 北陸ブロック拠点病院における11年のHIV
歯科医療体制の取り組みと今後の課題
山本裕佳¹⁾、宮田 勝²⁾、高木純一郎²⁾、能島初美¹⁾、
山田三枝子³⁾、辻 典子³⁾、上田幹夫⁴⁾、池田正一⁵⁾、
前田憲昭⁶⁾
1) 石川県立中央病院歯科技術室
2) 石川県立中央病院歯科口腔外科
3) 石川県立中央病院／財団法人エイズ予防財団
4) 石川県立中央病院血液免疫内科
5) 神奈川歯科大学
6) 医療法人社団皓歯会
- P-113 HIV感染早期発見におけるクリニックの役割
谷口 恭
すてらめいとクリニック
- P-114 当院初診患者の傾向 ～どこでHIV検査を
受けたか～
後藤哲志、片山智香子、宇野健司、中村匡宏、
塩見正司
大阪市立総合医療センター感染症センター
- P-115 当院における自立困難なHIV感染者の療養支
援の検討—施設でのアンケート調査から—
加澤敏広¹⁾、山崎直子²⁾、秋山京美²⁾、津畑千佳子¹⁾、
太田求磨¹⁾、田邊嘉也³⁾
1) 新潟県立中央病院呼吸器内科
2) 新潟県立中央病院看護部
3) 新潟大学歯学総合研究科臨床感染制御学分野(第2内科)
- P-116 岡山県における中核拠点病院の活動報告
徳永博俊¹⁾、和田秀穂¹⁾、久保田哉絵²⁾、三宅晴美²⁾、
杉原 尚¹⁾
1) 川崎医科大学血液内科
2) 川崎医科大学附属病院看護部
- P-117 当院における新規HIV感染症患者の傾向と
東京都全体の患者構成との乖離について
古賀一郎、太田康男
帝京大学医学部内科学
- P-118 HIV急性感染に播種性結核と血球貪食症候
群を合併した1例
倉井華子、吉村幸浩、立川夏夫
横浜市民病医院感染症内科
- P-119 血球貪食症候群(HPS)を合併し、ステロイ
ドが奏功した急性HIV感染症の一例
柳澤邦雄^{1,2)}、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、堀場昌英¹⁾
1) 国立病院機構東埼玉病院呼吸器科
2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- P-120 ニューモシスチス肺炎における重症化要因
の検討
堀場 昌英
国立病院機構東埼玉病院
- P-121 トキソプラズマ脳炎の初期変化として頭部
MRIガドリニウム造影T1強調像で基底核の
高信号を呈したAIDSの1例
鈴木 圭¹⁾、松本剛史²⁾、大石晃嗣²⁾、村嶋正幸³⁾、
前田正幸⁴⁾、榎屋正浩¹⁾、片山直之¹⁾
1) 三重大学医学系研究科血液腫瘍内科学
2) 三重大学医学部附属病院輸血部
3) 三重県立看護大学
4) 三重大学医学部附属病院画像診断科
- P-122 HAART導入2年後に脊椎炎で再燃したMAC
症の1例
馬渡桃子、内海英貴、塚本憲史、野島美久
群馬大学医学部生体統御内科学
- P-123 HAART治療開始後に*Mycobacterium Kansaii*
による肺感染症を生じた免疫再構築症候群
の一例
山崎善隆^{1,2)}、牛木淳人²⁾、小竹美千穂³⁾、
小林裕子³⁾、土屋広行⁴⁾
1) 信州大学医学部附属病院内視鏡診療部
2) 信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科
3) 信州大学医学部附属病院医療福祉支援センター
4) 信州大学医学部附属病院薬剤部
- P-124 HIV感染症におけるクリプトコッカス髄
膜炎再燃例に対するイトラコナゾールの使用
経験
伊藤俊広¹⁾、佐藤 功¹⁾、突田健一²⁾、成川孝一²⁾、
鈴木靖士²⁾
1) 国立病院機構仙台医療センター内科
2) 国立病院機構仙台医療センター神経内科
- P-125 肺の空洞性病変と複数の日和見感染症を合
併したAIDSの一症例
谷口智宏、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、
大谷成人、富成伸次郎、渡邊 大、上平朝子、
白阪琢磨
国立病院機構大阪医療センター
- P-126 HAART導入後に免疫再構築症候群として肺
サルコイドーシスを発症した一例
仲村秀太、田里大輔、原永修作、前城達次、
比嘉 太、健山正男、藤田次郎
琉球大学医学部感染病態制御学講座

一般演題 (ポスター)

P-127 特異な経過を辿り診断に難渋した結核による免疫再構築症候群の一例

菊地 正¹⁾、鯉淵智彦¹⁾、片寄智規²⁾、小柳津直樹³⁾、前田卓哉⁴⁾、遠藤宗臣¹⁾、藤井 毅¹⁾、小田原隆¹⁾、岩本愛吉¹⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院アレルギー免疫内科
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院検査部
- 4) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター

P-128 当院で経験されたHIV/結核重複感染症25症例の臨床像

上田敦久¹⁾、須田昭子¹⁾、岡 秀昭¹⁾、内田大介¹⁾、中仙道亜弥¹⁾、安達理恵²⁾、竹林早苗²⁾、小田みどり²⁾、松山奈央²⁾、沓名明子²⁾、白井 輝³⁾、石ヶ坪良明¹⁾

- 1) 横浜市立大学付属病院リウマチ・血液・感染症内科
- 2) 横浜市立大学付属病院看護部
- 3) 横浜市立大学医学部看護学科

P-129 HIV患者で播種性ペニシリウム症を発症した一例

小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、谷口智宏、大谷成人、富成伸次郎、渡邊 大、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

P-130 両側眼瞼部カポジ肉腫にて発症したエイズの1例

後藤尚絵¹⁾、鶴見 寿^{1,2)}、笠原千嗣^{1,2)}、兼村信宏¹⁾、原 武志¹⁾、鶴見広美²⁾、森脇久隆³⁾

- 1) 岐阜大学医学部血液感染症内科
- 2) 岐阜大学医学部エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部消化器内科

P-131 HHV-8による多彩な病変を呈したAIDSの1例

矢嶋敬史郎、渡邊 大、小川吉彦、坂東裕基、谷口智宏、大谷成人、富成伸次郎、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

P-132 サルベージ療法も無効であった治療抵抗性食道原発AIDS関連リンパ腫の1例

加藤哲朗、河野真二、佐藤文哉、堀野哲也、中澤 靖、吉田正樹、小野寺昭一

東京慈恵会医科大学感染制御部

P-133 トキソプラズマ脳炎維持療法中に悪性リンパ腫を認めた後天性免疫不全症候群の一例

大谷知穂、玉嶋貞宏

聖隷浜松病院血液内科

P-134 ボセンタン使用下にて良好な臨床経過を得ているHIV関連肺高血圧症の一例

南宮 湖、神戸敏行、中村 朗

総合病院国保旭中央病院内科

P-135 空胞性脊髄症と浸潤マクロファージの病理組織学的検討

高橋清実¹⁾、Dmitri Nossik²⁾、佐多徹太郎³⁾、Ivo Sah Bandar¹⁾、船田信顕⁴⁾、佐藤成大¹⁾

- 1) 岩手医科大学医学部細菌学
- 2) D.I. Ivanovsky Institute of Virology
- 3) 国立感染症研究所感染病理部
- 4) 東京都立駒込病院病理科

P-136 アバカビル投与による副作用とその発現時期についての検討

平野 淳^{1,2)}、奥村直哉^{1,2)}、久高祐一¹⁾、寺畑奈美¹⁾、高橋昌明^{1,2)}、坂野和英¹⁾、脇坂達郎²⁾、横幕能行²⁾、間宮均人²⁾、濱口元洋²⁾、金田次弘²⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

P-137 Tenofovir 長期投与における腎機能の評価(第2報)

吉野宗宏¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、栗原 健²⁾、坂東裕基³⁾、小川吉彦³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、谷口智宏³⁾、笹川 淳³⁾、大谷成人³⁾、富成伸次郎³⁾、渡邊 大³⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構京都病棟薬劑科
- 3) 国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科

P-138 末期腎不全に至ったHIV患者7症例の臨床的検討

関谷紀貴¹⁾、安藤 稔²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾

- 1) 東京都立駒込病院感染症科
- 2) 東京都立駒込病院腎臓内科

P-139 HIV腎症の組織的検討が行えた1例

手塚貴文¹⁾、張 仁美¹⁾、和田真一²⁾、亀田茂美⁴⁾、田邊嘉也¹⁾、竹田徹朗³⁾、西 慎一³⁾、下条文武¹⁾

- 1) 新潟大学歯学総合研究科臨床感染制御学分野(第二内科)
- 2) 新潟大学歯学総合研究科内部環境医学講座(第二内科)
- 3) 新潟大学歯学総合病院腎・膠原病内科(第二内科)
- 4) 新潟厚生連上越総合病院内科

一般演題 (ポスター)

- P-140 抗HIV療法の脂質代謝に及ぼす影響～NRTI変更による脂質代謝への影響を中心に
林 栄治、阿部浩子、古垣齊拡、今村茂樹、平井愛山
千葉県立東金病院
- P-141 HAART療法中に骨塩低下を伴う右大腿骨頸部骨折をきたしたAIDSの1例
乾 啓洋、内藤俊夫、鈴木麻衣、櫻井貴子、羽田南欧子、齋田瑞恵、渡辺由希子、大嶋弘子、三橋和則、池田啓浩、磯沼 弘、檀原 高
順天堂大学医学部総合診療科
- P-142 抗HIV薬による副作用の赤芽球癆を発症した症例について
戸塚清人、吉田 喬、中川美都子、丸山敬子、吉森文子
富山県立中央病院薬剤部調剤指導班
- P-143 抗HIV治療の副作用による痙性歩行が疑われた1例
古西 満¹⁾、善本英一郎^{1,2)}、宇野健司^{1,3)}、小川 拓¹⁾、中川智代¹⁾、米川真輔¹⁾、笠原 敬¹⁾、前田光一¹⁾、治田匡平⁴⁾、三笠桂一¹⁾
1) 奈良県立医科大学感染症センター
2) 奈良厚生会病院感染制御室
3) 大阪市立総合医療センター感染症センター
4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- P-144 HIV検査・相談室「サークルさっぽろ」の電話・インターネット予約による受検システムの現状と課題
徳本栄子¹⁾、林 宏明²⁾、竹内 仁³⁾、杉山逸子²⁾
1) 財団法人北海道難病連
2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
3) WABEさっぽろ
- P-145 HIV検査・相談室「サークルさっぽろ」の現状と課題
杉山逸子¹⁾、大平勝美¹⁾、佐々木秀利¹⁾、館石宗隆²⁾
1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
2) 札幌市保健所
- P-146 東京都多摩地域における土曜日即日検査の来所者の動向について【第2報】
大木幸子¹⁾、小日向弘雄^{2,3)}、佐藤未光^{4,5)}、山田悦子⁶⁾、野原永子⁶⁾
1) 杏林大学保健学部看護学科
2) 多摩地域検査・相談室
3) 多摩川病院
4) ひかりクリニック
5) Rainbow Ring
6) 東京都福祉保健局健康安全部
- P-147 大阪における土曜日常設HIV抗体検査前後の個別相談に関する分析
山中京子、岳中美恵、岡本 学、榎本てる子、土居加寿子、横田恵子、松浦基夫
NPO法人CHARM
- P-148 HIV抗体検査（迅速検査会）におけるHIV陽性者としての役割についての考察
藤原良次¹⁾、早坂典生¹⁾、太田裕治²⁾、坂本裕敬³⁾
1) りょうちゃんず
2) ネットワーク医療と人権
3) 広島市健康福祉局保健部保健医療課
- P-149 宮城県におけるHIV感染者の在宅医療等に向けての基本調査
疋田美鈴、武藤 愛、佐藤 功、伊藤俊広、西巻雄司、鈴木智子、佐藤愛子、小倉美緒
国立病院機構仙台医療センター
- P-150 HIV陽性者の地域支援体制構築に関する保健所の役割についての1考察
木山敦子、山階 学、大原俊剛、深谷 修、成田恵美子、三木妙子、森かすみ
大阪府池田保健所
- P-151 大阪医療センターにおけるHIV感染症患者の心理検査依頼状況について
大谷ありさ¹⁾、仲倉高広¹⁾、早林綾子^{1,2)}、藤本恵里¹⁾、森田眞子¹⁾、安尾利彦¹⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
2) 財団法人エイズ予防財団
- P-152 HIV医療におけるカウンセリング制度の周知に関する研究
藤本恵里¹⁾、大谷ありさ¹⁾、仲倉高広¹⁾、早林綾子^{1,2)}、森田眞子¹⁾、安尾利彦¹⁾、奥田剛士³⁾、山中京子³⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
2) 財団法人エイズ予防財団
3) 大阪府立大学

一般演題（ポスター）

P-153 中核拠点病院におけるカウンセリング体制に関する研究—医療者への聞き取りなど近畿ブロックにおける予備的調査の結果より—
山中京子¹⁾、児玉憲一²⁾

1) 大阪府立大学人間社会学部

2) 広島大学教育学研究科

P-154 ブロック拠点病院での匿名無料即日HIV抗体検査～カウンセリングの振り返り～
菅澤明美¹⁾、高岡勝利¹⁾、高橋晴代¹⁾、成田清子¹⁾、
関 義信²⁾、小林 進³⁾

1) 新潟県立新発田病院看護部

2) 新潟県立新発田病院内科

3) 新潟県立新発田病院検査科

P-155 東京都エイズ専門相談員制度に対する初回利用担当者の意識調査

神谷昌枝、吉田幸子、内野ナンティヤ、
吉田容子、荒井アオイ、武藤百合、山田悦子、
野原永子、大井 洋

東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係
